

令和8年度

通常総会議案書

令和8年6月8日(月)

一般社団法人 小樽観光協会

一般社団法人 小樽観光協会

令和8年度 通常総会 次第

日 時 : 令和8年6月8日(月) 午後4時 00分

場 所 : グランドパーク小樽

1 開 会

2 会 長 挨 拶

3 議 長 選 出

4 議事録署名人選出

5 議 事

報告事項・審議事項

第1号議案 令和7年度 事業報告 P 1～25

第2号議案 令和7年度 決算報告及び監査報告 P26～36

第3号議案 役員の退任および選任(案) P37

第4号議案 令和8年度 事業計画(案) P38～46

第5号議案 令和8年度 収支予算(案) P47～48

6 閉 会

令和7年度 事業報告

地域 DMO の取組

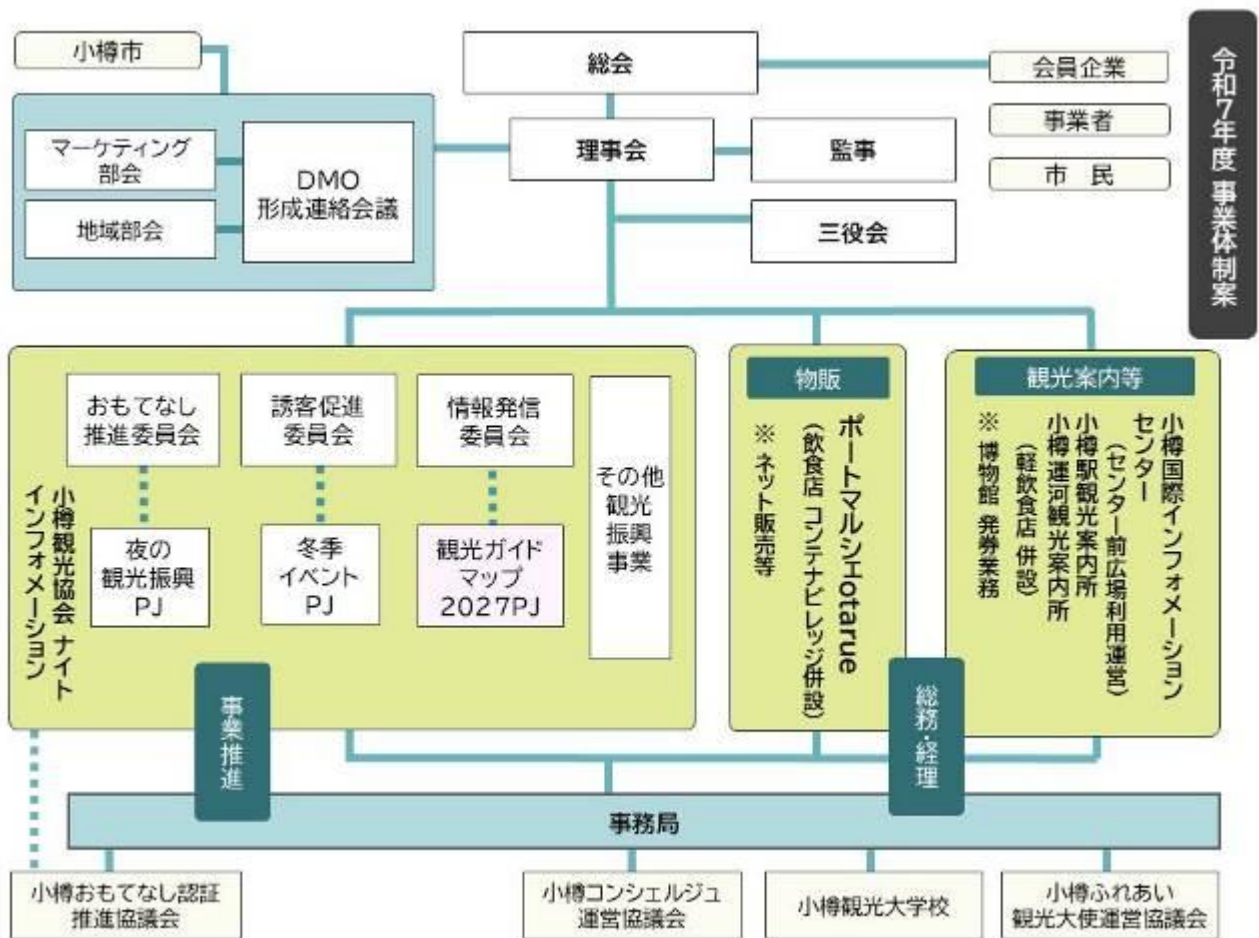
【方針と戦略】

観光による地域経済の活性化に向け、特に“長期滞在型観光を推進し、観光による消費額を増やすため、以下の3点を重点項目として継続し、各種事業の推進に取り組んだ。

- ① 多彩な観光資源を活用した体験型コンテンツの充実による、滞在時間の延長を図る。
- ② おもてなし力の向上を図り、長く滞在したくなる、また来たくなる小樽を目指す。
- ③ 安心して楽しめる夜の街の魅力を発信し、宿泊への動機付けを増やす。

1 観光事業の推進

多様な関係団体・事業者との協働と、一般社団法人小樽観光協会が推進する委員会・プロジェクト体制を活用し、各種観光振興事業を推進した。



2 戦略立案・マーケティング

形成連絡会議を開催し、観光庁への報告資料をベースに、戦略の策定と目標とする指標(KPI)の達成に向けた取組みや計画値、登録 DMO 更新申請の協議のほか、ガイドライン改正の概要等を確認した。

- ・ 形成連絡会議：令和7年7月22日開催

3 アンケート調査

小樽を訪れる観光客を対象として、動態や意向、消費金額の変化などを調査し、観光施策推進のための基礎資料とするアンケート調査を毎年度実施。

Google フォーム活用したアンケート方法に変更し3年目となり、回答数の増加を図るため、設置箇所を増やし、英語表記も加えるなど改善策を行ったが、減少となった。結果からは、宿泊者からの回答割合が多いことや、外国人客の回答が伸び悩み少ないという傾向は継続している。

- ・ 対象：小樽を訪れる観光客(国内外観光客／宿泊・日帰り)
- ・ 回答：日本語／英語／中国語簡体字／中国語繁体字／韓国語
- ・ 実施期間：令和7年(2025年)4月20日～令和8年(2026年)3月20日
- ・ 周知：ポスター(A3)を十数か所に掲示、ポストカードサイズ POP を作成し69か所に設置
- ・ 回答件数：592件(うち外国観光客67件)
～ 内訳：日本語 525、英語 28、中国語簡体字 9、中国語繁体字 29、韓国語 1
- ・ 回答謝礼：毎月抽選で10名に500円分のAmazonギフト券をプレゼント

4 観光庁への報告と登録 DMO 更新

- ① 登録DMOとしての自己点検の実施及び事業報告書の提出：令和7年7月16日
- ② 令和4年10月28日付けで「登録観光地域づくり法人(登録 DMO)」として、観光庁の登録を受け3年が経過することから、令和7年度は、初めてとなる更新申請となった。観光庁から更新手続きは、事業報告時に申請する指示があり、事業報告に合わせて更新申請を行った。観光庁からは令和7年10月31日付けで更新の登録が公表された。
- ③ 令和7年度 DMOの「現状調査票」の提出：令和7年12月17日

5 DMO ガイドライン改正への対応

- ・ 観光庁は令和7年3月25日付けで DMO ガイドラインを改正し、活動成果の定量的かつ定性的な評価のほか、基礎的な研修の受講の要件化や観光地経営戦略の策定の義務化などのほか、意思決定機関での議事録内容の公表などを求められるものとなった。
- ・ この改正ガイドラインに基づき、より本質的な DMO としての質を高めた活動については、改正ガイドラインの基準が適用される次期更新期(令和10年度)の前年度までに実現しなければ、登録が取り消されることとなった。
- ・ ガイドライン各項目の実施については、小樽市の理解と支援が必要であることに加え、令和8年度に小樽市で宿泊税の課税が開始され、その予算編成を迎えることから、当協会としての今後の具体的な取組方針等も含め、「改正 DMO ガイドラインに対応した戦略的な観光地経営に向けた構想」としてまとめ、令和7年12月19日に小樽市長に説明し協力を要請した。



6 情報公開

- ・ 公式ウェブサイトにて観光庁へ報告した「観光地域づくり法人(DMO) 事業報告書(様式1、形成・確立計画)」を公表

7 人材育成

- ・ DMO更新登録要件として、観光庁が指定する研修を受講する必要があることから、令和7年度は、1名(専務理事)が公益社団法人日本観光振興協会主催の「観光地経営人材認証(中核)地域マネジメント」研修を受講し、令和8年1月20日付けで修了した。

観光事業推進

1 受入推進事業

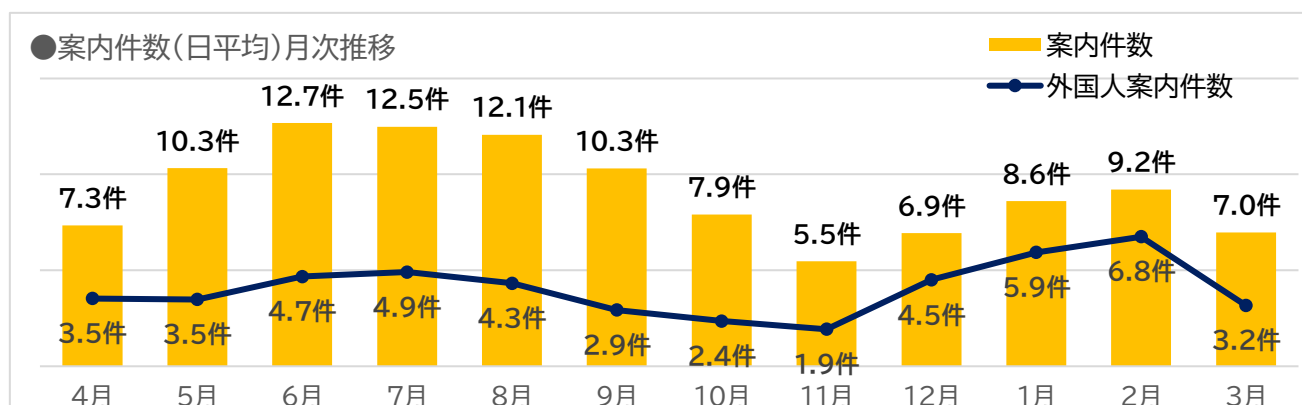
観光客の利便性を高め、観光に携わる事業者や小樽市民による“おもてなしマインド”の向上を目指す企画を進めることで、小樽で心地良い時間を過ごす観光客が増え、選ばれる観光地となっていくための取組を展開した。

(1) 「小樽観光協会ナイトインフォメーション」事業【おもてなし推進委員会】【3,010,549円】

ナイトタイムエコノミーを推進するために、夜間の飲食店や観光スポットなど観光客に最適な情報を提供することで、夜間の観光客数の増加を図り、観光客が夜の小樽をより楽しむことができるようにするナイトインフォメーションを運営。

- ・ 場所：おたる屋台村レンガ横丁入口(サンモール一番街)、
- ・ 時間：17:00～22:00

案内実績	案内件数	案内人数	案内店舗数(飲食店)				案内件数のうち外国人対応件数
			登録店	未登録店	計	うち電話予約	
R7年度計	3,339	7,040	1,176	765	1,941	240	1,459
R7年度日平均	9.3	19.6	3.3	2.1	5.4	0.7	4.1
R6年度計	4,451	10,012	1,698	959	2,657	580	1,845



○お客様の声・要望

- ・ 21時閉店は早い。遅くまで営業している定食屋、レストランが少ない。
- ・ 英語対応の店。
- ・ 寿司屋が満席で入れない。
- ・ 駅方面に居酒屋が少ない。
- ・ 音楽を楽しめる店。
- ・ ムパフェ、ムラーメンの店が少ない。
- ・ テイクアウト可能な店舗。
- ・ 地元の酒。
- ・ 年末年始の臨時休業が多い。
- ・ ベジタリアンやハラル対応。
- ・ 鍋料理(外国人に多い)。
- ・ 小樽らしい、北海道らしい食事。
- ・ 地元の人が利用する店。
- ・ 喫煙可能な店。
- ・ 子どもも楽しめる食事場所。
- ・ 近くの店。
- ・ 運河以外の夜の観光スポットが不足。
- ・ 遊べる場所がない。
- ・ 夜に土産を購入できる店。
- ・ 翌日の朝食。
- ・ タクシーがつかまりづらい。
- ・ 外貨両替やキャッシング。
- ・ 聖地巡礼、口ケ地めぐり。

(2) 受入整備事業【おもてなし推進委員会】 【78,129 円】**① 北運河美化活動(草むしり、ゴミ拾い)**

- ・ 観光協会会員や地域住民に参加呼びかけを行い、委員会を中心に計 7 回実施
- ・ (公財)日本観光振興協会 北海道支部の助成金を活用し、オリジナルラバー軍手を作成、参加者に配布
- ・ 実施時間 : 8:00~9:00 清掃活動

4月9日	4月23日	5月21日	7月16日	8月20日	9月10日	10月15日	合計
25名	24名	17名	25名	21名	23名	30名	163名

**(3) おもてなし啓発事業【おもてなし推進委員会】 【256,454 円】****① 「教えてください、小樽のちょっといい話」大募集**

おもてなし向上を目的とした啓発活動の一環として、感動エピソードを募集

- ・ 応募実績 104 件(ハガキ 79 件、ウェブ 24 件) ※ 前年度実績 41 件
- ・ エピソードは、「おたるぼーたる」掲載・SNS 発信のほか、FM おたる「ASAKATSU」内のコーナーにて毎月紹介

② エピソード感謝状

前年令和6年度のエピソード募集において、ホスピタリティあふれる対応により、小樽ファン獲得に貢献した施設に「感謝状」を贈呈した。

- ・ 対象数施設 13 軒 : ローソン小樽花園二丁目店、おたるワインギャラリー、ローソン小樽色内店、Creators Shop BASE-C96、Otameshi(ウイングベイ小樽)、北一ヴェネツィア美術館、堺町通り商店街、浅原硝子製造所、かもめや、斎藤鮮魚店(南樽市場)、人力車えびす屋、六花亭、おたる宏楽園

③ メディアを使用したおもてなし事業紹介

- ・ 雑誌「HO」(10/25 発売号)にて、小樽おもてなし認証の事例を紹介

④ 高校生向けおもてなし出前授業【事務局】

小樽おもてなし認証推進協議会 運営審査委員会のメンバーを講師として派遣し、小樽未来創造高校にて、おもてなしについての出前授業を講話とワークショップの形式で実施した。

- ・ テーマ : 「学校生活と小樽のまちに役立つおもてなし」
- ・ 日程 : 令和 8 年 1 月 29 日(木)・30 日(金)の 2 回実施

(4) 外国人観光客受入事業【おもてなし推進委員会】 【330,401円】

外国人観光客受入対応の向上ため、以下の取組を実施

① 外貨両替カード製作

- ・ポストカードサイズの情報ツール 20,000部製作
- ・外貨両替の情報を掲載したページへ誘導

② 「小樽おもてなし英会話」フレーズ集制作

- ・小樽の観光現場を想定して制作
- ・データ版(紙媒体なし)配布。おたるぽーたるに掲載
- ・令和7年12月発行(令和8年3月改訂)

③ FMおたる番組「Otaru さわやか English」製作

- ・放送期間：令和8年1月～3月、月～金 7:55～7:59
- ・出演：パシフィック英会話スクール&おもてなし推進委員会
- ・フレーズ集に掲載されている内容を中心に、観光現場で役立つ英会話表現を紹介

④ (飲食店対象)調査事業

市内飲食店について、外国人観光客の受入れに関する現状を明らかにし、課題の把握や受入対応の改善策を検討することを目的に実施。

- ・期間：令和7年6月23日(月)～8月31日(日)
- ・調査対象：小樽市内飲食店
- ・調査方法

a) Google フォーム上に回答フォームを設定、Eメールでアンケート周知。

- ・対象：小樽観光協会 会員／関係団体にも依頼

b) アンケート回答用紙を印刷し、ポスティング。回答は同封の用紙に記入し、FAXにて送信
または記入面を撮影したものをメールやLINEで送信

※ 回答用紙に記載のQRコードから、Google フォームへの回答も可能

- ・対象：メールアドレスを把握できていない店舗、花園エリア飲食店等
- ・回答数：51件

**○アンケート回答から**

外国人観光客対応状況	スムーズに対応(31.4%)、対応に不安や課題あり(61.8%)、対応していない／できない(7.8%)
外国人観光客対応で困っていること(複数回答)	言葉が通じない(48%)、マナーや文化の違い(42%)、トラブル時の対応(44%)、語学力不足(44%)
外国人観光客受入支援で希望すること	多言語対応ツールやアプリの紹介(46%)、接遇異文化理解の研修(26%)、多言語パンフ配布(34%)、海外向け情報発信のサポート(28%)、特になし(18%)
今後、外国人観光客の受け入れに積極的に取り組みたいと思いますか？	ぜひ取り組みたい(26%)、できれば取り組みたい(38%) あまり取り組みたくない(10%)、取り組む予定はない(26%)

⑤ (飲食店対象)外国人観光客対応のヒント 情報共有会

外国人観光客受入を前向きに考えていくための情報交換会を開催、飲食店での外国人観光客対応の具体的なヒントや、明日から実践できる小さな工夫を登壇者から紹介。

- ・ 日程：令和8年3月10日(木)18:00~19:00、 会場：華婉(小樽市花園)
- ・ 対象：レストラン、居酒屋、バー、スナックなどにお勤めの方
- ・ ゲストスピーカー：みなとまち情報社 湊 一浩 氏
「観光客受入のメリット、外国人対応の好事例等」
- ・ 参加者：飲食店関係者 11名 + 委員 10名



(5) バリアフリー事業 [おもてなし推進委員会] 【219,426円】

① アンケート調査実施

当協会会員や堺町通り商店街加盟店等を対象に、バリアフリー観光の受入実態について、アンケートを実施。

- ・ 実施期間：令和7年12月22日(月)
~令和8年1月23日(金)
- ・ 回答方法：Googleフォームから回答、または用紙に記入後メール・FAXにて協会宛送信
- ・ 寄せられた困りごとや質問は、ミニ勉強会でのフィードバックと後日会員向けに情報共有。



② バリアフリーミニ勉強会

車いす体験や当事者に気軽に話を聞くことができる機会を通じ、小樽らしいバリアフリー観光づくりにむけた気づきの機会を提供

- ・ 日程：令和8年3月5日(木)
18:30~20:00
- ・ 会場：小樽港観光船ターミナル
- ・ 内容：車いす利用者接遇・視覚障がい者接遇体験、当事者講師とのトークタイム
- ・ 対象：市内観光関連施設 従事者(当協会会員、堺町通り商店街振興組合等)
- ・ 参加人数：12名(申込み15名、3名欠席)



○参加者の声

- ・ さまざまな個性がある中で、その人にあった楽しみ方があると感じた。五感で楽しむお話の中で、目や耳が全てではなく香りや振動で伝わることがわかった。
- ・ 実際に疑似体験できて良かった。誘導の難しさがよくわかった。

(6) 夜の魅力発信事業【夜の観光振興プロジェクト】 【1,565,525 円】

ナイトタイムエコノミーの推進を目指し、店舗周遊企画や各種媒体を通じた小樽の夜の魅力発信事業を展開した。

① (観光事業者向け企画)スナックママとめぐる ぶらり花園 夜さんぽ 実施

小樽市内の観光施設のスタッフや観光案内に携わる方を対象に、花園地区を舞台に散策企画を開催、旅行者や観光客へのご案内に活用いただく機会を提供。

- ・ 開催日：①9月18日(木)4名参加(当日キャンセル有)、②9月30日(火)9名参加

○参加者感想

普段通らない道を通り行った事のないお店や話しを見聞きしていつもと違った花園の雰囲気を知る事が出来た。お店選びの際もっとインフォメーションにも立ち寄り新規開拓したい。



② 夜の情報発信事業

紙媒体「おたるナイトマップ」、ウェブサイト「ON-Otaru Night-」、小樽商工会議所青年部制作のウェブアプリ「おたるあそび」の3媒体を連携させる情報発信事業を引き続き展開。

観光客を歓迎し、夜 21:00 の時点で営業している店であることを条件に掲載募集を行った。

- ・ 掲載料 10,000 円(年額)※3 媒体に掲載
- ・ 掲載店数 飲食店 21 軒+おたる屋台村
／バースナック 38 軒
- ・ 小樽ナイトマップ 発行部数 20,000 部

③小樽ナイトガチャ事業

飲食店への回遊策として、利用料金が明快で、かつ遊び要素のある企画「小樽ナイトガチャ」をナイトインフォメーションに設置した。

- ・ 協力飲食店数 9 軒



2 誘客・プロモーション事業

国内外マーケットにおける目的とターゲットを整理し、宿泊喚起・連泊やリピーターの誘客促進につなげるプロモーションを展開することで、観光消費の拡大を目指す。

(1) 海外誘客事業[誘客促進委員会] 【902,462 円】

① 「Visit Japan トラベル & Mice マート 2025(VJTM)」出展

国内最大のインバウンド商談会において、小規模自治体(市町村)向け HALF 参加枠にて国内セラーとして参加し、小樽観光コンテンツの紹介と情報収集を展開。MICE やオーダーメイド型案件等、商談素材も多様化の傾向。観光コンテンツの情報とあわせて、宿泊施設の情報を求められるケースが多かった。

- ・ 開催期間：令和 7 年 9 月 25 日(木)～9 月 27 日(土)
- ・ 会場：Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホール A
- ・ 主催：日本政府観光局(JNTO)
- ・ 商談実績

	国・地域	商談数	内 訳
東アジア	1	2	台湾2
東南アジア	2	10	シンガポール 6 フィリピン4
オセアニア	1	1	オーストラリア 1
北アメリカ	1	1	カナダ 1
ヨーロッパ	1	1	ドイツ1
計	6	15	

② スキープロモーション

a) フリーペーパー「SNOW HEAVEN JAPAN」出稿

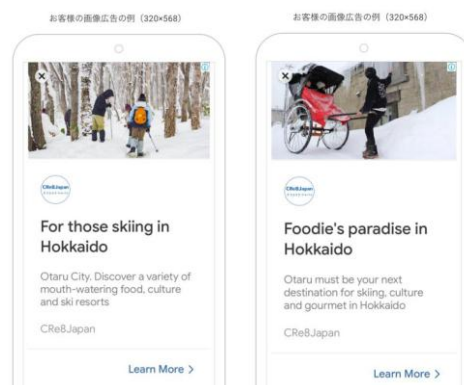
ワールドクラスのスキー場は世界各地にあるが、経験豊富なスキーヤーには、町場に近いスキー場の方が人気である。小樽のアフタースキーの PR や電車乗ったら札幌行ける他地域へのアクセスが魅力。地元の近さと人間のつながり、食の魅力を訴求する。

- ・ 英語語版冊子の発行+英語版 e-Book+日本語版 e-Book
- ・ 3 ページ掲載/2025 年 12 月発行/海外スキーPR イベントや国内スキー関連施設等で配布



b) ウェブプロモーション「CRe8Japan」掲載、広告 PR

- ・小樽情報をサイトに掲載
<https://www.cre8japan.net/>
- ・ウェブ広告を配信(10/15-1/31)
配信ターゲット:オーストラリア在住 英語話者
Google 広告表示回数 329,464
広告クリック 3,503 回
広告タイプ レスポンシブディスプレイ広告



③ 意見交換会・セミナー参加・招聘事業受入対応

以下の商談会・招聘事業について、情報交換や市内視察対応を行った。

招 聘 者	主 催	内 容
インドネシア旅行会社 意見交換会	北海道観光機構	令和 7 年 7 月 4 日(金)@札幌
フィリピン市場 意見交換会	北海道観光機構	令和 7 年 7 月 7 日(月)@札幌
ドイツ旅行会社 意見交換会	北海道観光機構	令和 7 年 8 月 8 日(金)@札幌
イタリアメディア招聘	ANA あきんど	令和 7 年 10 月 11 日 市内視察
エアアジア招聘	北海道観光機構	令和 7 年 10 月 31 日~11 月 1 日 市内視察
首都圏ランドオペレータ向けセミナー	北海道観光機構	令和 7 年 11 月 6 日(木)@東京・新宿

(2) 国内誘客事業[誘客促進委員会] 【2,504,066 円】

① 情報交換会、商談会等への出展 (toB)

a) 北海道観光機構 地方都市相互送客連携事業 参画

北海道との航空便のある他県地方都市との相互送客事業において実施される観光情報交換会(現地メディア、旅行会社)や一般消費者向けプロモーションにて、小樽 PR を実施した。

地域	日 程	内 容
福岡	10/3(金)13:30~16:00	情報交換会(メディア・旅行会社)
	10/4(土)10:00~18:00	現地 PR イベント、ブース来場 355 名・アンケート回答 161
熊本	10/5(日)13:30~16:00	現地 PR イベント、ブース来場 197 名・アンケート回答 99
	10/6(月)10:00~17:00	情報交換会(メディア・旅行会社)

福岡、熊本、ともに「小樽雪あかりの路」が知られていないので、重点的に紹介。次いで、「小樽めし」「朝活マップ」の流れで、宿泊を促した。「小樽めし」から焼肉スープを紹介し、花園エリア(スナック街)の紹介にもつなげ、地元民の楽しみ方という視点で PR を展開した。



b) ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸

毎年開催されているツーリズム EXPO ジャパン(TEJ)に、北海道ブース・後志総合振興局の枠で参加。道内各地域と連携を図りながら、世界最大級の観光産業イベントである TEJ にて、業界関係者向け展示商談会と一般消費者向け国内プロモーションを実施し、旅行会社・メディア等(BtoB)と観光意識の高い一般消費者(BtoC)の双方に対し、小樽 PR を実施した。

- ・ 日 程：令和 7 年 9 月 25 日(木)～28 日(日)
(25 日(木)・26 日(金) 展示商談会、27 日(土)・28 日(日) 一般日)
- ・ 会 場：Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) 中部国際空港直結
- ・ 主 催：公益社団法人 日本観光振興協会／一般社団法人 日本旅行業協会(JATA)／
日本政府観光局(JNTO)

c) 小樽港クルーズ・プロモーションにおける観光 PR

クルーズを取り扱う旅行会社やメディア向けに、北後志地域との連携で、観光 PR を実施。小樽市長による小樽港プレゼン、北後志観光協会による地域プレゼンに続き、懇親会にて情報交換が行われた。

- ・ 日 時：令和 7 年 11 月 18 日(火)18:00～19:45 @上野精養軒
- ・ 招待客：約 40 名(船社・旅行会社等)
- ・ 地域側：北後志観光協会(小樽・余市・仁木・古平・積丹)
事業者(天狗山、オルゴール堂、サツドラ、貴賓館、日本旅行小樽支店、
龍宮クルーズ、北海道ワイン、札幌国際スキー場)
- ・ 主 催：小樽港クルーズ推進協議会 (事務局 小樽市産業港湾部港湾室)

○参加事業者の声

- ・ ツアー企画について、仮契約を結べた。
- ・ 自社開拓ではほぼ難しい企業との名刺交換ができた。小樽地区の会社との繋がりを持つことができた。
- ・ 圏域全体としてクルーズ船寄港の効果は極めて大きい。プロモーションは継続してほしい
- ・ 可能であれば小樽での視察も含めてより知っていただく機会があればよいと感じた。

② 消費者向けプロモーション (toC)

a) 北海道の物産と観光展

- 北海道観光機構が道外で実施する北海道物産展の会場で放映する PR 動画編集に参画
- ・ 全 31 会場で放映

b) 仙台藤崎百貨店「小樽の物産と観光展」連携事業【事務局】

小樽製品の PR や観光コーナーへの来場、藤崎での購買促進を目的とし、期間中「小樽の物産と観光展」の対象売場にて商品を税込 5,000 円以上(合算可)お買い上げの方を対象に、小樽旅行や小樽名産品が当たる抽選会事業にて景品の一部提供で連携

- ・ 期 間：令和 7 年 12 月 11 日～24 日(14 日間)
- ・ 「小樽の物産と観光展」の売場販売員に 5000 円以上購入のレシート(合算可)提示で応募ハガキをお渡し。必要事項を記入の上、応募箱に投函してもらう。
- ・ 「小樽に泊まってみま賞」ペア1組様プレゼント

③ 国内プロモーション 朝活 & フェリー航路活用事業

フェリー航路を活用した観光 PR について検討するため、現地調査を兼ねた小樽・後志観光 PR 事業を実施。後志総合振興局との事業連携のもと、乗船客の実態について傾向を探るとともに、観光のニーズ調査を行うことにより、海の玄関口である小樽港から後志への周遊促進の可能性を探った。

・ 期 間： 令和 7 年 7 月 31 日～令和 8 年 2 月 27 日

・ 内 容： 船内での小樽後志 PR／下船後の周遊促進対策(朝活マップ増刷)／タビマエ PR

○船内での小樽後志 PR ①小樽・後志の観光 PR デスク パンフレット配布、案内業務

航路	① 新 潟		② 新 潟		③ 舞 鶴	
	小樽→新潟	新潟→小樽	小樽→新潟	新潟→小樽	小樽→舞鶴	舞鶴→小樽
日程	9/9(火) 17:00 発 ↓ 9/10(水) 9:15 着	9/10(水) 12:00 発 ↓ 9/11(木) 4:30 着	10/17(金) 17:00 発 ↓ 10/18(土) 9:15 着	10/18(土) 12:00 発 ↓ 10/19(日) 4:30 着	荒天による 欠航 ※航空機にて 移動	(予定) 1/13(火) 23:50 発 1/14(水) 21:15 着 (遅延) 1/13(火) 27:00 発 1/14(水) 25:00 着
アンケート 回答数	95	109	82	75	—	12



○振り返り

- ・新潟航路では「朝活マップ」が好評(下船後に行く場所の提案)
- ・小樽の訪問先は、運河が必ず入るが、運河クルーズや海上観光船など船アクティビティも人気
- ・小樽は経由地なので、観光しない人も多数。北海道一周を計画している人が多い
- ・「後志」とは何か？と聞かれることが多かった

○タビマエ PR

2025 年新造船デビューを果たした舞鶴航路の「けやき」の乗船レポの記事を作成し、小樽観光協会公式サイトにて掲載 (※ウェブマガジン「小樽通 番外編」として配信)

④ 道内客向けプロモーション (メディア活用) [事務局]

道内客をターゲットとしたプロモーション、メディア媒体を活用したプロモーションを実施

媒体名	頁数	出版	内容
poroco 2025 年 5 月号	1	えんれいしゃ	小樽おもてなし認証
HO 増刊号	1	ぶらんとマガジン社	日本遺産 北海道の心臓
北海道生活 2025 夏号	2	えんれいしゃ	夏のアクティビティメニュー
フリーペーパー道の駅	1	RSP 道の駅	小樽めし

(3) 教育旅行誘致事業 [事務局] 【53,225 円】**① 教育旅行受入れ対応およびコーディネート**

職業講話、職業インタビューや班別発表会対応をコーディネート、実績 6 校

学校名	地域	実施日	内 容
北広島市立緑が丘小学校	北広島	2025/9/8	小樽体験：新日本海フェリー船内見学
北海道教育大学附属 札幌中学校	札幌	2025/5/21	職業講話、まちづくりインタビュー
小樽市立菁園中学校	小樽	2025/4/20	横浜の商店街での小樽 PR(物販、PR 活動)
明秀学園日立高等学校	茨城	2025/9/25	札幌での小樽 PR に向けた出前授業
札幌市立八条中学校	札幌	2025/6/10	まちづくりインタビュー
小樽市立菁園中学校	小樽	2025/5/22	札幌での小樽 PR に向け出前授業

② 他地域事例視察

小樽での教育旅行誘致や市民の教育への関心を高める仕掛けとして、事例研究として、小中学生が地元の魅力を再発見し、観光の基礎や地域貢献を学ぶ「子ども観光学」講座を視察。

- ・ 視察日：令和 8 年 2 月 28 日(土) 10:00～16:00 @まちなか交流館(旭川市)
- ・ 主 催：あさひかわ創造都市推進協議会(事務局:旭川市経済部産業振興課)
- ・ 講 師：寺本 潔 名桜大学 特任教授

(4) 冬季閑散期対策事業 【4,288,566 円】**① 青の運河、ワイングラスタワー [事務局]**

冬季の集客対策の一環で、イルミネーションやオブジェを設置。

- a) 青の運河：令和 7 年 11 月 1 日(土)
～ 令和 8 年 1 月 31 日(土)

b) ワイングラスタワー

地元高校生ボランティア(小樽未来創造高等学校、小樽潮陵高等学校、小樽桜陽高等学校、小樽水産高等学校)の企画制作のもと、高さ3mのタワーを展示

- ・ 期 間：令和 7 年 11 月 30 日(日)
～令和 8 年 2 月 15 日(日)
- ・ 会 場：ルタオ運河プラザ店

**② YOI-TARU プロジェクト [冬季イベントプロジェクト]**

小樽観光協会と余市観光協会の連携のもと、冬季閑散期対策に取り組む「YOI-TARU プロジェクト」にて、小樽と余市の周遊企画や小樽での味覚祭、余市でのワインイベントを展開した。

※ 北海道観光機構 道央地域分科会 地域提案事業 活用

a) YOI-TARU 味覚祭 2025 in サンモール一番街

小樽と余市の食と酒を体感してもらうため、両地域の飲食店や酒造事業者による出店イベントを開催。ポスターやチラシ、SNS 広告等での PR を展開。2 日間の来場数は約 8,000 名。

- ・ 名称：「YOI-TARU～味覚祭 2025 inサンモール一番街～」
- ・ 日時：令和 7 年 11 月 8 日(土)、9 日(日)
土曜日 11:00～19:00、日曜日 11:00～17:00
- ・ 会場：サンモール一番街(小樽市稲穂)
- ・ 出店数：一般募集出店 テント 9 店(出店料 40,000 円/2 日間)
- ・ 公式サイト：<https://www.yoi-taru-project.com/>



ニッカウキスキー余市 スペシャルブース	新ブランド「ニッカフロンティア」、および「ブラックニッカの PR」のドリンク販売を実施	売上総額 683,670 円
ご当地グルメ販売	余市ひる貝カレー(1日目)、シャコ汁ブース・販売(2日目)	
小樽余市物販ブース	余市観光協会、ポートマルシェ otarue が地域産品を販売	
オープニングセレモニー	りんごのほっぺとニッカウキスキーハイボールをふるまい、会場全体で乾杯	
ステージ企画	小樽商科大学小林友彦ゼミ生による研究発表	
	YOI-TARU 味覚祭りりんご皮むき世界選手権	
	音楽ステージ	
	よさこいステージ	
	余市パイピングソサイエティバックパイプ	
ゲームゾーン	ホタテつ～みつみ/シャコボーりんご	
会場演出	焚火・マシュマロコーナー	

○プロモーション

- ・ 公式サイト、SNS での発信
- ・ SNS 広告運用 (50,000 円/43,646 インプレッション)
- ・ ポスター 400 枚製作、チラシ 20,000 部配布、パブリシティ 15 件

b) 小樽余市周遊企画:YOI-TARU JOURNEY

地元民による小樽・余市の魅力を紹介する周遊観光ガイドを制作。観光地として定番のスポットに加え、地元民だからこそ知る穴場や楽しみ方を掲載し、訪れる人々に“本当の小樽・余市”を体感してもらうことを目指した。



- ・ 印刷部数 10,000 部、
- ・ SNS 発信 15 本の動画を発信(総ビュー15,000)

3 情報発信事業

多彩な観光資源を活用した滞在型コンテンツや小樽宿泊の情報発信をターゲット層別に展開し、小樽への訪問意欲の向上や滞在時間の延長を働きかけ、観光による消費額の向上を目指す。

(1) Web マガジン「小樽通」配信【情報発信委員会】 【385,510 円】

本体記事を公式サイトに掲載後は、各種公式 SNS によるプッシュ配信を展開した。

- ・ 令和 7(2025)年 12 月までは季刊誌として配信、令和 8(2026)年 3 月からは毎週更新に変更した。
- ・ 毎号、読者アンケートを設定し、配信内容についての分析を実施するとともに、読者プレゼントで地域製品の PR も行った。
- ・ 総記事数 44、配信後から令和 8(2026)年 3 月 31 日までの記事総数の表示回数 55,347 (前年実績 34,763)
- ・ HBC ウェブメディア「Sitakke」との連携により、一部の記事は 2 次活用された。

	記事タイトル	
夏号 2025 年 6 月	美しい小樽の海 紺碧の舞台へ出陣[つむぐおたる深掘りレポ]	6/15
	ひんやり美味しいカフェめぐり。小樽の夏に出会う3つの物語	6/17
	小樽で選ぶ 暮らしを彩る雑貨さがし	6/18
	保存版！小樽の日本遺産を歩く 歴史が息づくまちを旅しよう	6/20
	『おたるのほそ道』～稲穂・仲見世通りをゆく～	6/21
	潮まつりだ！サアサー踊ろうよ♪知られざる舞台ウラ	6/23
	花園女子旅レポート vol.4 しあわせの味を届ける、花園のスイーツ職人たち	6/24
	これもおもてなし♪ 藪半・宏楽園・運河クルーズ・大正硝子[おもてなし認証バナシ]	6/27
	「飴色に染まる空間で悠久の時を」旧日本郵船株式会社 小樽支店を徹底解剖！	6/28
積丹ブルーと海の恵みを満喫 一家族でめぐる夏の積丹半島一周ドライブ	6/30	
秋号 2025 年 9 月	金賞ミニトマト「ほおばりっち」 海と大地が育てた小樽のごちそう	9/15
	行ってみたら新発見！小樽・朝里川温泉旅	9/16-9/18
	『おたるのほそ道』～静屋通りをゆく コーヒー・カヌレ・音楽の沼へ	9/19

動機付け	特に「小樽に行ってみたくになりました」「また行きたくになりました」といった声が多数を占める
気づき	内容面で「知らなかった小樽を知れた」「新たな発見があった」「小樽の裏側まで知ることができた」といった反応も多い。「今まで見過ごしていた場所に気づいた」「こんなに魅力があるとは思わなかった」といった発見を知らせる感想も
行動喚起	グルメやカフェ、街歩き、自然体験など幅広いテーマに対し、「行ってみたいお店が増えた」「次の旅行の参考になる」といった具体的な行動意欲が見られた。
再認識	地元在住者から「住んでいても知らないことが多い」「改めて小樽の良さを再認識した」との声
高揚感	写真やストーリー性について「ワクワクした」「実際にいる気分になった」など。
課題	「記事にたどり着きにくい」といった導線面や、〇〇の記事が見たいという意見も散見。

OSNS 広告配信(Instagram・Facebook)

読者プレゼントの呼びかけに合わせて、SNS 広告を配信。記事の閲覧を促した。

	2025 夏号	2025 秋号	2025 冬号
消化金額 (円)	11,987	11,854	10,793
閲覧数	31,985	26,609	18,761
リンククリック	710	245	651
リーチ	19,251	11,854	9,315
エンゲージメント	4,249	3,133	3,679

○振り返り

- ・ 前年度より地元ライターが増加し、より地域に根差した角度からの情報発信ができ、「知らなかった小樽を知れた」「新たな発見があった」という評価につながっている。
- ・ 観光客だけでなく地元住民からも「住んでいても知らないことが多い」「魅力を再認識した」との反応があり、地域のメディアとして存在感を強めることができている。
- ・ 写真撮影講座を開催し、撮影技術をライター内で共有できたことで写真の質が向上。SNS で転載した際も Instagram を中心に一定の成果を上げている。
- ・ 小樽観光協会のメール配信からの流入も多く、既存ファンの創出ができた。
- ・ Sitakke 転載や SNS 展開により、ウェブ以外の露出先を作り出すことができた。

(2) デジタルマーケティング事業【事務局】 【1,083,867 円】

a) SNS マーケティング

各種 SNS アカウント「小樽よいとこ」にて、小樽の情報発信を展開

SNS 名	アカウント名	リンク
X(旧 Twitter)	小樽よいとこ	https://x.com/OtaruYoitoko
Instagram	小樽よいとこ	https://www.instagram.com/otaruyoitoko/
Facebook	小樽よいとこ	https://www.facebook.com/otaruyoitoko/
TikTok	小樽よいとこ	https://www.tiktok.com/@otarutourismassociation

	X	Instagram	Facebook	TikTok
フォロワー数(2026年3月31日現在)	5,980	13,485	1,918	969
フォロワー増加数(前年度比)	2,077	6,576	596	532
投稿数	1,570	182	171	62
平均投稿数(週)	30	3.5	3	1
閲覧数	5,052,667	6,188,309	836,587	365,049
リーチ数	-	838,280	210,246	271,026
インタラクション	337,072	93,000	20,312	8,046
プロフィールへのアクセス	14,752	70,765	11,425	4,264
リンククリック	-	8,682	1,853	6

○振り返り

- ・ Instagram では保存性の高い情報提供、Facebook では地域密着型の共感醸成、TikTok では動画による拡散、X では高頻度投稿による認知拡大と、各 SNS の特性に応じた役割分担のもとで、異なる価値提供ができています。
- ・ Instagram を中心に、イベント情報や季節情報、飲食店情報など行動につながる投稿がユーザーの保存や反応の良さに繋がっており、ニーズを捉えた情報発信ができています。
- ・ 「新たな発見」だけでなく「思い出」や「共感」を提供する投稿ができており、フォロワーの小樽愛を育む投稿を実現できている
- ・ 投稿数の増加および反応の良い投稿の継続によりフォロワー数が伸びていることから、継続的な情報発信によりアカウントを成長させることができた

b) Sitakkeソフトクリームラリー

ウェブメディア「Sitakke」(HBC 運営)が、パートナーメディアである「Chai」(十勝毎日新聞社運営)のソフトクリームラリー企画の全道版として開催する事業に「小樽ポータル」メディアとして連携。

- ・ 開催期間：令和7年6月1日(日)～8月31日(日)
- ・ 参加方法：キャンペーン対象店舗で台紙をGET。ソフトクリームを購入し、スタンプを獲得。
ハガキ投函で応募
- ・ 告知：HBC 各種テレビ・ラジオ番組／ソフトクリームラリーCM の放送
交通広告／ SNS 広告／新千歳空港内ビジョン広告 等
- ・ 小樽市内からの参画店舗：7店
- ・ 参加者：スタンプラリー台紙62,610枚配布 参加者約55,000名
- ・ 経済効果：1個400円×3個×55,000人 → 6,600万円の経済効果が推定

c) 各種ホームページ運営

- ・ おたるぼーたる <https://otaru.gr.jp/>
- ・ キタル、オタル。 <https://otaru.jp/>
- ・ Visit Otaru <https://www.visit-otaru-en.info/>
- ・ デジタルマップ Gnome
https://uu-nippon.jp/gnomemap/index_en.html?area=6#18/43.20105/141.00028



○公式ウェブサイト「おたるぽーたる」アクセス実績

おたる ぽーたる	ユーザー数比較			セッション数		
	2024年度	2025年度	比較	2024年度	2025年度	比較
合計	1,700,481	1,449,910	▲14.7%	2,363,223	2,159,567	▲8.62%
月平均	141,076	120,826		196,935	179,964	

d) ウェブバナー広告事業

- ・ 運用開始から 9 年目、計 10 事業者の広告枠を獲得。広告収入 420,000 円



e) ウェブサイトリニューアル事業

- ・ 令和 7 年度中のサイトリニューアルを目指し、再構築検討を開始。
- ・ 専門家によるウェブ解析のもと、全面的なリニューアルに向けて、令和 8 年実施に事業移行。
※ 事業変更に伴い、補助金 1,100,000 円を小樽市に返還

(3) 公式小樽観光ガイドマップ 2025 配布事業【事務局】 【241,152 円】

小樽への旅行を検討また実行予定の観光客層や小樽を観光中の旅行者に対する情報発信ツールとして、小樽観光ガイドマップ 2025 の配布、活用を推進した。

(4) 観光ガイドマップ 2026 製作【情報発信委員会／事務局】 【16,555,262 円】

小樽観光ガイドマップ 2026 年度を制作。前年度制作の「つむぐおたる」の在版修正を基本方針とし、冊子版の地図面の改良と別冊マップのデザイン変更(表紙・地図面)を行った。また、ウェブサイトでの情報訴求の強化も引き続き取り組み、観光客や旅行者にとってタビナカで便利に利用できるマップ制作を進めた。(※広告掲載 87 企業 105 施設)

① 小樽観光ガイドブック 2025「つむぐおたる」（本誌）

A4版 / 表紙含め全 16 ページ / 50 万部

② 別冊マップ（A5 サイズ相当）

日本語版 20 万部 / 英語版 12 万部

中国語繁体字・韓国語 各 7.5 万部 / 中国語簡体字 3 万部

▼ 主な配布先

- ・ 小樽市内の観光案内所、観光施設、宿泊施設、飲食施設
- ・ 道央圏の公共交通機関、札幌圏・後志圏の宿泊観光施設
- ・ 道外物産展会場、観光案内所、交通機関等各所

③ 「つむぐおたる」ウェブ展開

本誌掲載の小樽の紹介「海と運河がつむぐ 7 つの物語」ほか、広告掲載施設のインタビュー取材を行った情報を掲載（QR コード遷移 / <https://tsumugu-otaru.jp/>）



(5) 広報パブリシティ対応【事務局】

各種メディアや旅行会社、観光関連団体等への情報提供の対応を行った。

- ・ 対応件数 26 件

4 その他観光振興事業【事務局】

(1) 音声合成キャラクター活用事業：小樽潮風高校 Project

TOKYO6 ENTERTAINMENT 及び小樽商科大学との連携を継続し、小樽まちなみめぐりスタンプラリーや飲食店コラボ企画等の企画を通じた観光地めぐりを展開した。

① 第六回 小樽まちなみめぐりスタンプラリー

- ・ 開催日時：令和7年5月31日～8月4日
- ・ 各施設に 3 キャラクターのスタンプを計 27 個設置
- ・ グッズ販売実績 スタンプ帳 748 冊
- ・ 参加店のオリジナルイラストを活用したオリジナル商品グッズの制作、販売



② 飲食店コラボ企画

「小樽まちなみめぐりスタンプラリー」の開催にあわせて実施。飲食店は、キャラクター3名のコラボメニューを提供、ご利用のお客様には、特典としてオリジナルコースターをプレゼント。

- ・ 提供店舗 7 店舗参加
- ・ 売上実績 1,594,190 円（オリジナルメニューの実績）



③ 市内街頭放送：時事放声社、6 分に1回(15秒)

(2) 夜の魅力づくり事業：小樽築港エリア・新しいナイトタイムコンテンツ造成事業 Phase II

※ 公益社団法人北海道観光機構 伴走支援型観光地域力強化推進事業 を活用

【12,000,000 円（うち補助金 10,000,000 円）】

一般社団法人赤井川村国際リゾート推進協会(赤井川村 DMO)と連携し、小樽築港エリアにおけるナイトタイムコンテンツ造成(2年目)に取り組んだ。

海のそばというポテンシャルを生かしたナイトタイムコンテンツとして、マリーナレストランを展開した。今年度は、悪天候時や大型MICE案件への対応を視野に、屋内フロアの拡充とともに、地域食材を生かした新メニューの開発に取り組んだ。また1年目の課題から、ライトアップの充実と巡回バスの運行により、認知度向上と交通アクセスの改善を図った。

- ・ 期間：令和7年6月29日～10月5日
- ・ 実績：ランチ、アフタヌーンティ利用人数は、1日あたり41名、売上額は27.8%の増加(前年度実績34名)。ターゲットに合わせた集客を重視したことで、量から質への転換を実現。2年目はメニュー単価を上げたことで、利用人数が伸び悩む局面もあったが、結果としてランチ・ディナー共に大幅な増収を達成した。



(3) 体験型コンテンツ造成事業：

「日本遺産認定『北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽』ガイド付きストーリーツアー造成・販売事業」 ※ 観光庁 地域観光魅力向上事業 を活用

【6,600,000 円（うち補助金 5,300,000 円）】

地域のストーリーを求める国内外の知的好奇心が強いターゲット(FIT)に向けて、日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」や「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」などの地域資源を活用し、地域の歴史や自然に紐づいたストーリーの魅力を訪訪者に伝えることで、エリア全体としての魅力を向上させるガイド付き高付加価値型ストーリーツアーの造成・販売を行った。

特に AT 商品は、インバウンドをターゲットに英語対応ガイドによるツアーで外国人観光客の満足度を高めるとともに、不足しているガイドスキルについては、ガイド向けのワークショップと研修の開催によりスキルの向上及び人材育成につなげた。

販売拡大に向けては、SNS や OTA を活用し、ターゲットへ情報発信を行う。公式サイトでの予約販売 JTB BOKUN の活用も継続。

【造成商品 4 本】

- ① 小樽田中酒造・酒蔵バックヤードツアー
(Otaru Tanaka Sake Brewery: Behind-the-Scenes Tour)
- ② 小樽いにしへの漁村・自然と歴史ショートトレッキングツアー
(Otaru's Old Fishing Village: Nature and History Short Trekking Tour)
- ③ 【1日限定の市場食堂】
小樽商人の原点「ガンガン」魂を握る。魚料理研究家とつくる「おにぎり」教室
([One-Day-Only Market Kitchen]
An Onigiri Class with a Seafood Expert)

④ 小樽まち歩きプレミアムガイドツアー（Otaru Premium Walking Guide Tour）

会員増加の取組【新規】

会員数の規模は、当協会存立の基礎であり、当協会の目的や事業に賛同する会員の増加が協会事業の理解者を増やし、組織としての力を高めることに繋がることから、令和7年度は、会員の裾野を広げる新たに会員増加を事業計画に盛り込み取り組んだ。

具体的取組みの中で、小樽観光や当協会の事業活動に対して、多くの市民からの理解や協力が重要であることから、従来の個人会員の規定を改正し、市民の皆様とのネットワーク拡大に向けて、「サポーター」として募集も開始した。

それぞれ取組みが秋以降になったものの、1年間の取組みの結果は次のとおりである。

○令和7年度の会員・口数の増加に向けた取組

		会員事業者数	口数
令和7年度当初の会員数		365	513
年度中の増減	新規	26	29
	退会	△7	△7
令和7年度末の会員数		384	541

※ 口数増の取組：4事業者から計10口へ変更（従来4口、会費の反映は令和8年度）

○令和7年度のサポーター会員の取組

	会員数	説明
令和7年度当初のサポーター(個人会員)数	12	11名新規申込
令和7年度末のサポーター数	23	

物販事業等**1 物販事業**

2年目となった小樽国際インフォメーションセンター内の「ポートマルシェ otarue」は、令和7年度来館者数が52万人となり、前年度比では約5%の減少はあったものの、初年度に引き続き50万人を超える多くのお客様に来場いただいた。

その傾向としては、本市への観光客入込数に比例してグリーンシーズンが多いものの、前年度比では前面の第3号ふ頭基部緑地の工事の影響もあると推測しているが、8月から10月の観光のトップシーズンが減少したことや、初年度同様に11月からの気候が厳しいシーズンの来館者の大幅に減少したことに加え、今冬1月は、厳しい降雪による交通機関への影響が大きかった日が多く、観光客の動向にも大きな影響(減少)があった。一方、2月からは、雪やイベントを楽しみに来樽するインバウンドや、翌3月も卒業旅行を中心に来場者が大きな増加傾向を示している。

来館者数に連動して売上額が2年連続で3億円を上回ったものの、収支状況は、後述する会計決算報告のとおり、テナント店舗がリニューアルしたものの売上が伸び悩んだことや、初年度よりは改善しているが物価高騰の影響など仕入を含めた経費の割合が高く赤字決算となった。

初年度は展開できなかったオンラインショップの再開やふるさと納税への商品掲載について、当協会らしいオール小樽の詰合せ商品などを展開したが、販売期間の短さや商品掲載数の少なさから収益に大きな貢献がある段階には至らなかった。

この2年間の来場者数の動向から気候が厳しい期間の来場者数の減少は、初年度から引き続き大きな課題であるが、運河周辺の宿泊施設に対するチラシ配布や SNS による情報発信等による効果もあり、今年に入ってからは前年度比で増加傾向を継続している。

さらなる施設の認知度向上を図るためにも、SNS 発信の強化や、今春にオープンした第3号ふ頭基部緑地「おたるポートスクエア」でのイベントとの連動、センター前広場の活用促進などにより来館者数の増加につなげ黒字化を図りたい。

- (1) 「ポートマルシェ otarue」（自販機、ガチャなどを含む）：決算報告を参照
- (2) コンテナ活用の焼立てパン店「Port bakery nomnom」・「コンテナバーガー -SUN-」：決算報告を参照
- (3) ネット活用事業：オンラインショップの再開(6月)、ふるさと納税への出品(2月)
- (4) 小樽国際インフォメーションセンター前広場の活用
 - ① 自主事業：夏季かき氷販売、農産品販売、潮まつりや海王丸などイベント時の出店など
 - ② 他事業者の利用：延べ43件
- (5) 新たな販売促進事業
 - ・コンテナバーガーでデリバリーサービスを8月から開始 2社（UBER EATS、Wolt）
 - ・コンテナ焼立てパンを済生会小樽病院内「ぱりもぱっそ」で2月から販売開始（週1回）
- (6) 出張販売
 - ① 市・他団体への協力
 - ・きて・みて・たべて・しる「きた☆しり」 in あいくる（北しりべし定住自立圏事業、2回）
 - ・北海道豊かな海づくり大会（北海道主催、ウイングベイ小樽）
 - ・北海道ご当地キャラフェスタ in 小樽（ウイングベイ小樽）
 - ② 自主事業
 - ・YOI-TARU～味覚祭 2025（サンモール一番街）

観光案内所運営・独自サービス事業・受託業務

1 観光案内所運営事業

小樽市からの支援を受け、「小樽国際インフォメーションセンター」、「浅草橋観光案内所」、「小樽駅観光案内所」の3か所を運営している。

浅草橋観光案内所は、隣接する似鳥文化財団の「浮世絵美術館」の開設に合わせて、同施設内に移転することとなり、令和7年6月17日に新たな名称「小樽運河観光案内所」としてオープンした。なお、新施設に合わせてお客様へのサービス向上策として、自動販売機の移設や新たにコインロッカーを設置したほか、浅草橋観光案内所内で連携企業と運営していたテイクアウト飲食店も同美術館内に移転オープンした。

3か所の案内所では、日本語スタッフのほか、英語、中国語、韓国語の通訳スタッフによる観光案内を実施。国際インフォメーションセンターは、日本政府観光局の外国人観光案内所（ビジット・ジャパン案内所（カテゴリー2））を、その他2施設はカテゴリー1の認定を受けて運営。

また、前年度の国際インフォメーションセンターでの「小樽おもてなし認証」の取得に引き続き、令和7年度は「小樽駅観光案内所」で認証取得やセミナー参加など接客向上に努めている。

- ・観光案内所利用客数を公式ウェブサイトで公表

○令和 7 年度 案内実績（単位：件）

	人 数	うち日本人	うち外国人
国際インフォメーションセンター	18,090	12,770	5,320
小樽運河観光案内所(旧浅草橋含む)	18,546	10,585	7,961
小樽駅観光案内所	39,959	24,191	15,763
計	79,913	47,551	29,044
前年度対比	95.8%	89.8%	107.7%

(1) 観光客へのサービス事業

① 外貨両替機

外貨両替機は、当協会が旧運河プラザを管理運営していた際に導入し、令和 6 年 3 月、小樽国際インフォメーションセンター開設の際も引き続き設置したことに加え、小樽クルーズターミナルの供用に合わせて、同施設内にも新設し、外国人観光客のサービス向上に努めている。

近年は、小樽運河から堺町通り商店街の周辺一帯で、コンビニエンスストアを中心に外貨両替機の設置箇所が増えており、本市への外国人観光客は増加傾向にあっても当協会の外貨両替機の利用実績は増加していない状況にある。

令和 7 年度の両替実績		国際インフォメーションセンター		小樽クルーズターミナル	
日本円出金合計(換算)		728 回	14,670,196 円	751 回	5,542,674 円
USD	アメリカドル	456 回	10,926,505 円	526 回	4,243,857 円
EUR	欧州連合ユーロ	39 回	1,192,405 円	88 回	801,078 円
GBP	イギリスポンド	5 回	16,442 円	6 回	46,119 円
CNY	中国元	40 回	497,955 円	15 回	81,823 円
KRW	韓国ウォン	54 回	475,096 円	38 回	114,704 円
HKD	香港ドル	12 回	83,349 円	7 回	17,736 円
TWD	台湾ドル	38 回	362,581 円	8 回	22,607 円
SGD	シンガポールドル	20 回	401,572 円	1 回	1,005 円
THB	タイバーツ	9 回	37,845 円	3 回	7,548 円
MYR	マレーシアリングgit	22 回	102,808 円	1 回	1,883 円
AUD	オーストラリアドル	20 回	313,168 円	43 回	178,909 円
PHP	フィリピンペソ	13 回	260,470 円	15 回	25,405 円

② 車椅子の貸出（無料）： 301 件、ベビーカーの貸出（ベビカル有料）： 179 件

③ スマホ充電器の設置

④ コインロッカーの設置（センター：計 10 口、運河案内所：11 口）：延べ利用約 330 回

(2) 小樽駅観光案内所に関する要望

（令和 8 年 4 月 1 日の要望となったが、令和 7 年度中の理事会で合意事項であるため記載）

- ・ 小樽市長と当協会会長の連名で北海道旅客鉄道(株)小樽地区駅・小樽駅 駅長宛て
- ・ 要望内容：現在の「小樽駅観光案内所」が、小樽駅で降車したお客様から分かりづらい配置であるため、小樽駅のインバウンドを含む旅行者の増加に伴う混雑状況の改善に向けた改修（検討）に合わせて、案内所をコンコースに面した位置への変更を要望

2 小樽市総合博物館本館・運河館窓口発券業務、入館料及び有償書籍売払代金に係る徴収事務業務（小樽市教育委員会から業務受託）

その他事務局対応事業

1 事務局を担っている事業等

(1) 小樽観光大学校

- ・ おたる案内人検定試験及び試験にかかる検定講座の実施
- ・ 公式テキストブックや認定バッジなど物販事業
- ・ おたる案内人の諸活動(まちなみ散策ガイドツアーやジュニア育成プログラムなど)との連携

(2) 小樽ふれあい観光大使運営協議会

- ・ 交流会：令和7年5月25日
東京小樽会に合わせて開催、大使5名が参加
- ・ 新たな大使：Da-iCEの工藤大輝氏が就任



(3) 小樽コンシェルジュ運営協議会

- ・ 小樽の魅力発信をするSNS発信などの活動を随時実施
- ・ 初寄港等のクルーズ客船の入港セレモニー7回
(いずれも第3号ふ頭)
- ・ 道外物産店等への協力4回
：金沢エムザ、そごう広島、水戸京成、天満屋岡山
- ・ 知産志食しりべし小樽駅即売会、JRひとめぐり号ほか、イベントへの参加11回
- ・ 2027小樽コンシェルジュの選定のための募集・審査会を実施



(4) 小樽おもてなし認証推進協議会

令和6年度から始動した「小樽おもてなし認証」制度の運営、およびに課題解決に取り組むとともに、制度の普及啓発とともに認証施設の増加に向け各種活動を推進した。

① 事業運営体制

- ・ 以下の7構成団体で「小樽おもてなし認証推進協議会」を設立し運営している。

(構成団体) 小樽商工会議所、小樽市商店街振興組合連合会、(一社)北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部、国立大学法人北海道国立大学機構 小樽商科大学、北海道全調理師会 小樽支部、(一社)小樽青年会議所、(一社)小樽観光協会

- ・ 協議会内に、旧おもてなし力向上委員会 PJメンバーを主要委員として構成する運営審査委員会を設置し、認定審査や普及活動などを実施

② 審査活動、認証取得施設対象の取り組み

a) 令和7年 小樽おもてなし認証 審査

お客様満足度調査(覆面調査)・審査会の実施、審査判定会議



b) 令和7年 小樽おもてなし認証 認証式の開催

- ・ 日時：令和7年7月17日、 ・ 場所：小樽芸術村 旧三井銀行小樽支店
- ・ 第2部として、「おもてなし力向上セミナー」を実施

○ 令和7年 認証取得施設数：8事業者・11施設

1	株式会社ウィンケル	Winkel Village	1
2	株式会社アートクリエイト	大正硝子びーどろ館	2
		大正硝子宇宙(SORA)	3
		大正硝子かんざし屋	4
3	田中酒造株式会社	田中酒造 本店	5
		田中酒造 亀甲蔵(きっこうぐら)	6
4	北海道中央バス株式会社	小樽バイン	7
5	一般社団法人小樽観光協会	小樽駅観光案内所	8
6	オーセントホテルズ株式会社	オーセントホテル小樽	9
7	株式会社小樽水族館公社	おたる水族館	10
8	北海道ガス株式会社 小樽支店	北ガス小樽支店	11

c) フィードバック勉強会

- ・ オンライン勉強会「事例から学ぶ、おもてなしの実践」：令和7年8月19日
- ・ フィードバック勉強会「小樽おもてなし研究会 ver.2」：同年10月29日 観光船ターミナル

③ 令和8年 小樽おもてなし認証 エントリー募集の取組み

a) エントリー募集セミナー：令和8年2月2日 小樽経済センター

- ・ 講演1：「お客様の声の重要性と覆面調査の活用事例」
- ・ 講演2：「デジタル社会における、おもてなしによる差別化の取組み」

b) 令和7年認証取得に向けたエントリー受付 令和8年2月1日～3月31日

2 その他の事業

(1) 会員への情報共有等

- ・ 毎月のメールマガジンの発行のほか、各機関からの公募事業や周知事業などのメール連絡

(2) 行政視察等の受入対応：道外の市・県議会、商工会 計6団体、56名（資料有料）

3 関係団体との連携事業

- ・ 小樽国際観光客誘致実行委員会（構成団体）・インバウンド戦略部会（構成員）
- ・ 小樽市オーバーツーリズム対策協議会（構成団体）・部会（構成員）
- ・ その他、小樽市の事業への参画や協力
- ・ 潮まつり実行委員会、雪あかりの路実行委員会等への参画
- ・ 市内関係団体と連携した取組み
- ・ 小樽商科大学との連携（地域連携プロジェクト）
- ・ 道内関係団体と連携した取組み（北海道観光 a 振興機構主催事業等への参画）
- ・ 後志地域での広域連携事業への参画
- ・ 札幌小樽 芸術文化・観光に関する連携協定に基づく事業 など

令和7年度 決算報告書

自 令和 7年4月 1日

至 令和 8年3月31日

作成日: 令和8年5月12日

一般社団法人 小樽観光協会

会長 西條 文雪

令和7年度 正味財産増減計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

【総括表】

単位:円

科 目	一般会計	事業会計	物販会計	合計
1 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	10,363,000			10,363,000
補助金・交付金等	55,651,370	30,016,256		85,667,626
観光協会運営費補助金	27,357,367			27,357,367
観光誘致促進事業費補助金		8,811,000		8,811,000
観光ガイドマップ製作事業費補助金		5,200,000		5,200,000
観光案内所運営費交付金	28,294,003			28,294,003
伴走支援型観光地域力強化推進事業補助金		10,000,000		10,000,000
地域観光魅力向上事業補助金		5,300,000		5,300,000
その他助成金		705,256		705,256
受託金	10,613,310			10,613,310
総合博物館発券業務受託金	10,613,310			10,613,310
事業推進負担金等		20,641,657		20,641,657
観光マップ作成負担金		12,304,000		12,304,000
夜の振興PJ・冬季イベントPJなど		3,565,000		3,565,000
地域観光魅力向上事業負担金		2,000,000		2,000,000
伴走支援型観光地域力強化推進事業負担金		2,000,000		2,000,000
その他負担金		772,657		772,657
物販事業売上等			330,655,195	330,655,195
マルシェ商品売上			303,698,690	303,698,690
コンテナ商品売上			14,819,647	14,819,647
その他売上			10,933,227	10,933,227
その他収入			1,203,631	1,203,631
雑収入	3,671,885	4,793,316	31,762	8,496,963
事業活動収入 計	80,299,565	55,451,229	330,686,957	466,437,751
事業活動支出				
事業費支出	38,460,383			38,460,383
観光案内所運営費	28,294,003			28,294,003
総合博物館発券業務費	9,288,580			9,288,580
関係団体会費	519,800			519,800
事業負担金	358,000			358,000
観光推進事業費		54,752,730		54,752,730
受入推進事業費		5,552,734		5,552,734
誘客・プロモーション事業費		7,748,319		7,748,319
情報発信事業費		1,519,124		1,519,124
観光マップ作成事業費		16,796,414		16,796,414
ナイトタイムエコノミー推進事業費		12,012,005		12,012,005
ガイド付ツアー造成販売事業費		7,378,255		7,378,255
その他事業費		3,745,879		3,745,879
物販事業費			348,143,348	348,143,348
マルシェ売上原価			219,143,778	219,143,778
コンテナ売上原価			7,305,985	7,305,985
事務局人件費			18,272,653	18,272,653
物販人件費			38,168,072	38,168,072
一般経費			65,252,860	65,252,860
一般管理費	44,696,874			44,696,874
事務局人件費	37,482,552			37,482,552
管理経費	7,214,322			7,214,322
事業活動支出 計	83,157,257	54,752,730	348,143,348	486,053,335
事業活動収支差額	▲ 2,857,692	698,499	▲ 17,456,391	▲ 19,615,584
2 財務活動収支の部				
財務活動収入計	25,267	14,032	37,852	77,151
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	25,267	14,032	37,852	77,151
法人税、法人住民税及び法人事業税			80,000	80,000
固定資産除却損	2,069,350			2,069,350
当期収支差額	▲ 4,901,775	712,531	▲ 17,498,539	▲ 21,687,783
前期繰越収支差額	27,678,458	8,362,962	▲ 20,542,732	15,498,688
次期繰越収支差額	22,776,683	9,075,493	▲ 38,041,271	▲ 6,189,095

令和7年度 正味財産増減計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

一般会計

単位(円)

科 目	R7年度予算額	R7年度決算額	予算との増減額
1 事業活動収支の部			
事業活動収入			
会費収入	10,716,000	10,363,000	▲ 353,000
補助金・交付金等	61,268,000	55,651,370	▲ 5,616,630
観光協会運営費補助金	28,923,000	27,357,367	▲ 1,565,633
観光案内所運営費交付金	32,345,000	28,294,003	▲ 4,050,997
受託金	10,711,100	10,613,310	▲ 97,790
総合博物館発券業務受託金	10,711,100	10,613,310	▲ 97,790
雑収入	3,000,000	3,671,885	671,885
事業活動収入 計	85,695,100	80,299,565	▲ 5,395,535
事業活動支出			
事業費支出	42,571,090	38,460,383	▲ 4,110,707
観光案内所運営費	32,345,000	28,294,003	▲ 4,050,997
総合博物館発券業務費	9,826,090	9,288,580	▲ 537,510
関係団体会費	150,000	519,800	369,800
事業負担金	250,000	358,000	108,000
一般管理費	41,604,920	44,696,874	3,091,954
事務局人件費	35,532,000	37,482,552	1,950,552
管理経費	6,072,920	7,214,322	1,141,402
事業活動支出 計	84,176,010	83,157,257	▲ 1,018,753
事業活動収支差額	1,519,090	▲ 2,857,692	▲ 4,376,782
2 財務活動収支の部			
財務活動収入計	0	25,267	25,267
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	25,267	25,267
固定資産除却損		2,069,350	2,069,350
他会計振替額			0
当期収支差額	1,519,090	▲ 4,901,775	▲ 6,420,865
前期繰越収支差額	27,678,458	27,678,458	0
次期繰越収支差額	29,197,548	22,776,683	▲ 6,420,865

令和7年度 正味財産増減計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

事業会計

単位(円)

科目	R7年度予算額	R7年度決算額	予算との増減額
1 事業活動収支の部			
事業活動収入			
補助金・交付金等	27,111,000	30,016,256	2,905,256
観光誘致促進事業費補助金	9,911,000	8,811,000	▲ 1,100,000
観光ガイドマップ製作事業費補助金	5,200,000	5,200,000	0
伴走支援型観光地域力強化推進事業補助金	12,000,000	10,000,000	▲ 2,000,000
地域観光魅力向上事業補助金		5,300,000	5,300,000
その他助成金		705,256	705,256
事業推進負担金等	17,820,000	20,641,657	2,821,657
観光マップ作成負担金	13,420,000	12,304,000	▲ 1,116,000
夜の振興PJ・冬季イベントPJなど	4,400,000	3,565,000	▲ 835,000
地域観光魅力向上事業負担金		2,000,000	2,000,000
伴走支援型観光地域力強化推進事業負担金		2,000,000	2,000,000
その他負担金		772,657	772,657
雑収入		4,793,316	4,793,316
事業活動収入 計	44,931,000	55,451,229	10,520,229
事業活動支出			
各委員会事業費	44,931,000	54,752,730	9,821,730
受入推進事業費	3,111,000	5,552,734	2,441,734
誘客・プロモーション事業費	7,400,000	7,748,319	348,319
情報発信事業費	4,220,000	1,519,124	▲ 2,700,876
観光マップ作成事業費	18,200,000	16,796,414	▲ 1,403,586
ナイトタイムエコノミー推進事業費	12,000,000	12,012,005	12,005
ガイド付ツアー造成販売事業費		7,378,255	7,378,255
その他事業費		3,745,879	3,745,879
事業活動支出 計	44,931,000	54,752,730	9,821,730
事業活動収支差額	0	698,499	698,499
2 財務活動収支の部			
財務活動収入計	0	14,032	14,032
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	14,032	14,032
他会計振替額	0		0
当期収支差額	0	712,531	712,531
前期繰越収支差額	8,362,962	8,362,962	0
次期繰越収支差額	8,362,962	9,075,493	712,531

令和7年度 正味財産増減計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

物販会計

(単位:円)

科 目	R7年度予算額	R7年度決算額	予算との増減額
1 事業活動収支の部			
事業活動収入			
物販事業売上等	405,600,000	330,655,195	▲ 74,944,805
マルシェ商品売上	371,600,000	303,698,690	▲ 67,901,310
コンテナ商品売上	21,500,000	14,819,647	▲ 6,680,353
その他売上	11,000,000	10,933,227	▲ 66,773
その他収入	1,500,000	1,203,631	▲ 296,369
雑収入	100,000	31,762	▲ 68,238
事業活動収入 計	405,700,000	330,686,957	▲ 75,013,043
事業活動支出			
物販事業費	405,046,509	348,143,348	▲ 56,903,161
マルシェ売上原価	263,860,000	219,143,778	▲ 44,716,222
コンテナ売上原価	10,750,000	7,305,985	▲ 3,444,015
事務局人件費	18,648,000	18,272,653	▲ 375,347
物販人件費	40,800,000	38,168,072	▲ 2,631,928
一般経費	70,988,509	65,252,860	▲ 5,735,649
減価償却費	10,853,509	10,819,691	▲ 33,818
賃借料	32,451,000	29,273,576	▲ 3,177,424
租税公課	4,989,000	4,753,420	▲ 235,580
支払利息	7,342,000	5,974,820	▲ 1,367,180
その他一般経費	15,353,000	14,431,353	▲ 921,647
事業活動支出 計	405,046,509	348,143,348	▲ 56,903,161
事業活動収支差額	653,491	▲ 17,456,391	▲ 18,109,882
2 財務活動収支の部			
財務活動収入計	0	37,852	37,852
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	37,852	37,852
法人税、法人住民税及び法人事業税	0	80,000	80,000
他会計振替額	0		0
当期収支差額	653,491	▲ 17,498,539	▲ 18,152,030
前期繰越収支差額	▲ 20,542,732	▲ 20,542,732	0
次期繰越収支差額	▲ 19,889,241	▲ 38,041,271	▲ 18,152,030

貸借対照表【総括表】

令和8年3月31日 現在

(単位:円)

科目	一般会計	事業会計	物販会計	合計
I 資産の部				
流動資産	42,547,270	10,458,453	49,254,970	102,260,693
現金	1,490,055		6,478,527	7,968,582
普通預金	4,185,561	8,966,053	11,446,332	24,597,946
売掛金			11,219,315	11,219,315
未収金	937,537	1,492,400	95,608	2,525,545
前払費用	582,855		733,282	1,316,137
立替金	10,434			10,434
仮払金	1,785,063			1,785,063
他会計短期貸付金	33,555,765			33,555,765
棚卸資産			19,031,586	19,031,586
貯蔵品			250,320	250,320
固定資産	270,173	0	32,639,410	32,909,583
車両運搬具	1			1
建物附属設備			7,322,543	7,322,543
機械および装置			1,726,701	1,726,701
什器備品	165,139		17,700,291	17,865,430
ソフトウェア			413,875	413,875
差入保証金			4,100,000	4,100,000
電話加入権	96,923			96,923
長期前払費用	8,110		1,376,000	1,384,110
資産の部 合計	42,817,443	10,458,453	81,894,380	135,170,276
資産 合計額	42,817,443	10,458,453	81,894,380	135,170,276
II 負債の部				
流動負債	18,007,644	1,382,960	55,627,348	75,017,952
買掛金			15,830,789	15,830,789
未払金	7,418,000	1,191,220	3,343,129	11,952,349
前受金	50,000	155,000		205,000
預り金	539,644		11,265	550,909
仮受金		36,740		36,740
他会計短期借入金			33,555,765	33,555,765
短期借入金	10,000,000			10,000,000
未払消費税			2,806,400	2,806,400
未払法人税等			80,000	80,000
固定負債	2,033,116	0	64,308,303	66,341,419
長期借入金			63,300,000	63,300,000
退職給付引当金	2,033,116		1,008,303	3,041,419
負債の部 合計	20,040,760	1,382,960	119,935,651	141,359,371
III 正味財産の部				
一般正味財産	22,776,683	9,075,493	▲ 38,041,271	▲ 6,189,095
正味財産の部 合計	22,776,683	9,075,493	▲ 38,041,271	▲ 6,189,095
負債及び正味財産合計額	42,817,443	10,458,453	81,894,380	135,170,276

財 産 目 録

令和8年3月31日 現在

資 産 の 部

一般会計

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
流動資産		42,547,270
現 金		1,490,055
普 通 預 金	北洋銀行小樽中央支店 ほか	4,185,561
未 収 金	小樽市産業港湾部観光振興室 ほか	937,537
前 払 費 用	損保ジャパン日本興亜(株) ほか	582,855
立 替 金	事業会計	10,434
仮 払 金	小樽商工会議所 労保事務組合 ほか	1,785,063
他会計短期貸付金	物販会計へ貸付け	33,555,765
固定資産		270,173
車 両 運 搬 具	軽自動車	1
什 器 備 品	エアコン ほか	165,139
電 話 加 入 権	東日本電信電話(株)	96,923
長期前払費用	小樽ホンダモーター(株)	8,110
資 産 の 部 合 計		42,817,443

負 債 の 部

科 目	摘 要	金 額
流動負債		18,007,644
未 払 金	小樽市産業港湾部観光振興室 ほか	7,418,000
前 受 金	次年度年会費前受け ほか	50,000
預 り 金	雇用保険料(従業員負担分)	539,644
短 期 借 入 金	北洋銀行 小樽中央支店	10,000,000
固定負債		2,033,116
退職給付引当金		2,033,116
負 債 の 部 合 計		20,040,760
一般会計正味財産	42,817,443 - 20,040,760 =	22,776,683

財 産 目 録

令和8年3月31日 現在

資 産 の 部

事業会計

(単位;円)

科 目	摘 要	金 額
流動資産		10,458,453
普通預金	北洋銀行小樽中央支店	8,966,053
未収金	ガイドマップ掲載料ほか	1,492,400
資 産 の 部 合 計		10,458,453

負 債 の 部

科 目	摘 要	金 額
流動負債		1,382,960
未払金	北洋JCBカードほか	1,191,220
前受金	アサヒビール(株)ほか	155,000
仮受金	(株)小樽海鳴楼	36,740
負 債 の 部 合 計		1,382,960
正味財産	10,458,453 - 1,382,960 =	9,075,493

財 産 目 録

令和8年3月31日 現在

資 産 の 部

物販会計

(単位;円)

科 目	摘 要	金 額
流動資産		49,254,970
現 金		6,478,527
普 通 預 金	北洋銀行小樽中央支店 ほか	11,446,332
売 掛 金	クレジット未決 など	11,219,315
未 収 金	北海道コカ・コーラボトリング(株) ほか	95,608
前 払 費 用	損保ジャパン ほか	733,282
棚 卸 資 産	商品期末棚卸高	19,031,586
貯 蔵 品	材料期末棚卸高	250,320
固定資産		32,639,410
建 物 附 属 設 備	コンテナ外装工事	7,322,543
機 械 お よ び 装 置	ソフトクリームサーバー ほか	1,726,701
什 器 備 品	オープンスポットケース ほか	17,700,291
ソ フ ト ウ ェ ア	レジクラウドシステム	413,875
差 入 保 証 金	販売用什器備品 ほか	4,100,000
長 期 前 払 費 用	物置前払い家賃	1,376,000
資 産 の 部 合 計		81,894,380

負 債 の 部

科 目	摘 要	金 額
流動負債		55,627,348
買 掛 金	商品仕入先	15,830,789
未 払 金	小樽観光振興公社 ほか	3,343,129
預 り 金	小樽港民舎 ほか	11,265
他会計短期借入金	一般会計より借入れ	33,555,765
未 払 消 費 税 等		2,806,400
未 払 法 人 税 等		80,000
固定負債		64,308,303
長 期 借 入 金	北洋銀行ほか	63,300,000
退 職 給 付 引 当 金		1,008,303
負 債 の 部 合 計		119,935,651
物販会計正味財産	81,894,380 - 119,935,651 =	▲ 38,041,271

計算書類に対する注記

令和7年度決算

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法により行っている。

(2) 固定資産の減価償却について

建物の減価償却については、旧定額法による償却限度額により行っている。

建物附属設備の減価償却については、定額法による償却限度額により行っている。

機械および装置、什器備品、ソフトウェアの減価償却については、定率法による償却限度額により行っている。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金については、簡便法を適応し、期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法により行っている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理により行っている。

2. 固定資産の取得価格、減価償却の累計額、資産圧縮損等及び当期末帳簿価格

固定資産の取得価格、減価償却の累計額、資産圧縮損等及び当期末帳簿価格は次のとおりである。

科 目	取 得 価 格	資 産 圧 縮 損	減 価 償 却 累 計 額	固 定 資 産 除 却 損	当 期 末 帳 簿 価 格
建 物	5,321,000		3,251,650	2,069,350	0
建 物 附 属 設 備	8,379,800		1,057,257		7,322,543
機 械 お よ び 装 置	3,135,000		1,408,299		1,726,701
什 器 備 品	45,106,103	1,598,786	25,641,887		17,865,430
車 両 運 搬 具	1,511,480		1,511,479		1
ソ フ ト ウ ェ ア	709,500		295,625		413,875
差 入 保 証 金	4,100,000				4,100,000
電 話 加 入 権	96,923				96,923
合 計	68,359,806	1,598,786	33,166,197	2,069,350	31,525,473

監査報告書

一般社団法人 小樽観光協会
 会長 西條 文雪 様

定款第23条により令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務執行状況及び財産の状況を監査しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。
3. 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和8年 5月12日
 一般社団法人小樽観光協会

監 事 伊 勢 伸 哉 ㊟

監 事 米 花 正 裕 ㊟

役員退任

(氏名) 五十嵐 直人

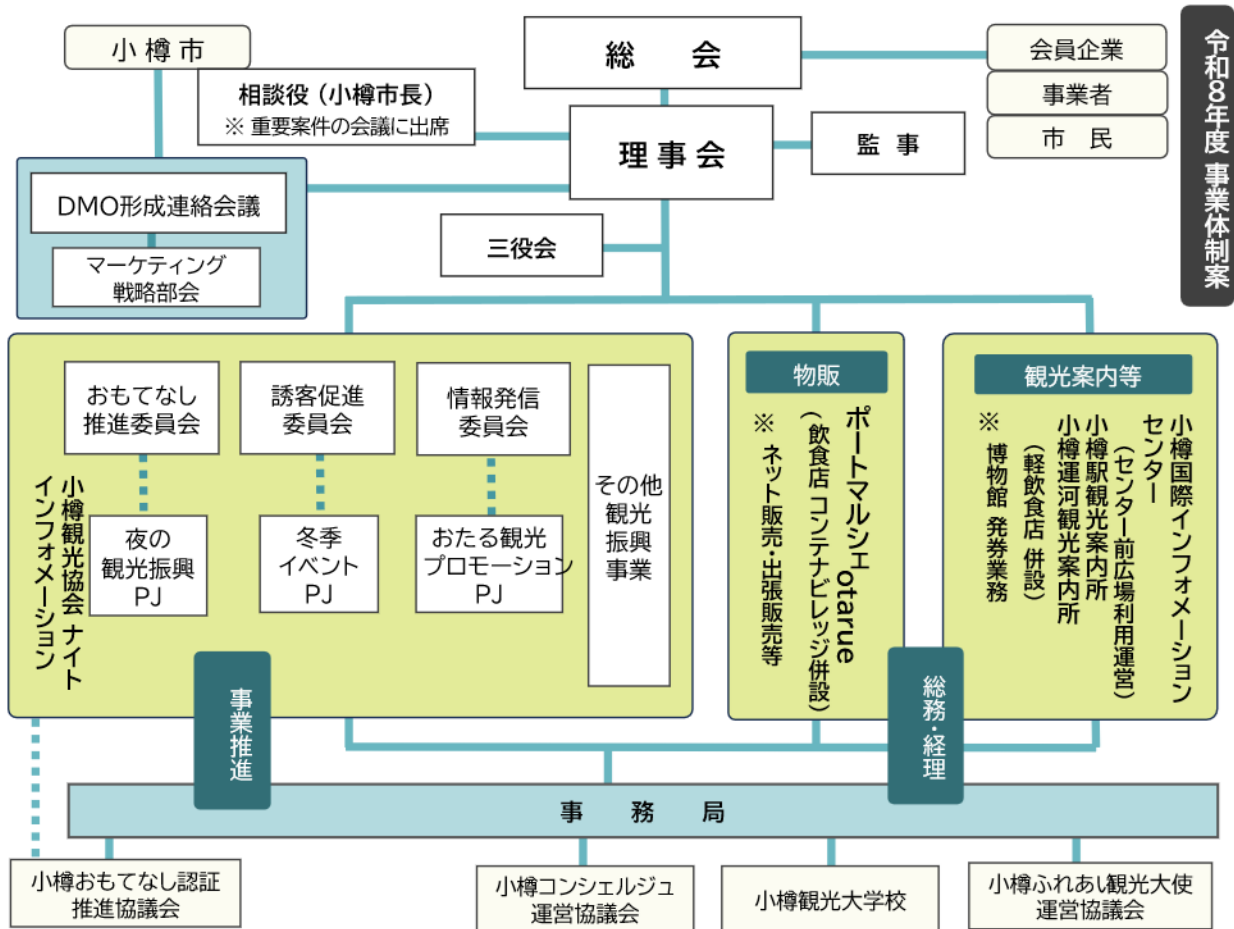
役員選任

(氏名) 山北 雅恵

【退任および選任の理由】

北海道旅客鉄道株式会社の令和8年6月1日付け人事異動に伴い、
理事 五十嵐 直人 氏から 山北 雅恵 氏へ交替するため。

令和8年度 事業計画



地域 DMO の取組

【方針と戦略】

観光による地域経済の活性化に向け、“長期滞在型観光を推進し、観光による消費額を増やす”ため、引き続き次の3項目を重点項目とし各種事業の推進に継続して取り組む。

- ① 多彩な観光資源を活用した体験型コンテンツの充実による、滞在時間の延長を図る。
- ② おもてなし力の向上を図り、長く滞在したくなる、また来たくなる小樽を目指す。
- ③ 安心して楽しめる夜の街の魅力を発信し、宿泊への動機付けを増やす。

1 DMO ガイドライン改正への対応と宿泊税を用途とした事業の拡大

- ・ 令和 8 年度から始まる宿泊税の用途としての事業提案を含め、ガイドライン改正に対応した取組等について、小樽市に要請した結果、理解を得られ、令和 8 年度小樽市予算において、当協会に対し「地域DMO交付金」として、従来の当協会への補助金事業の統合・再編を行ったうえで、新たに DMO として必須となった観光地経営戦略の策定や各種調査事業費のほか、戦略的なプロモーション・魅力づくりに対する事業費が大きく増額となった。
- ・ このことから DMO としての使命と責任が一層増し、改正ガイドラインによる令和 10 年度も更新されるよう、市との連携を強化し、機動力を強化できるよう組織改編等を行うとともに、関係団体や市民との理解を広げ・深めながら、積極的に各取組を推進する。

(1) 組織体制の強化

① 小樽市長の相談役就任

- ・ ガイドライン改正により DMO に権限と責任の付与や地方自治体による一定の財政支援の必要性が示された一方、自治体首長のリーダーシップ発揮が極めて重要と示されたことから、これまで顧問であった小樽市長を相談役に就任いただいたうえで、観光地経営戦略や事業計画など重要案件を協議する際の理事会に出席いただくこととした。

「小樽市観光基本計画」に記載される方向性やビジョンとの整合性や、各事業の KPI 等の達成状況や PDCA サイクルによる見直しなどの協議に意見反映いただくものである。

② DMO 形成連絡会議内のマーケティング部会と地域部会の見直し

- マーケティング部会は、メンバーを一新するとともに「マーケティング戦略部会」と名称変更し、DMO としての本題である“地域が稼ぐ”につながり、必須項目の実行計画を伴う「観光地経営戦略」の策定に向けた協議に加え、戦略の PDCA 協議や KGI・KPI の進捗管理など継続して活動する。
- 地域部会は、体験型観光と住民理解の促進をテーマとする取組みだったが、体験型観光については、市と連携して事務局に担当者配置(後述)し推進することや、住民理解の促進は、改正ガイドラインの重点の一つであり、事業計画において項目を設け内容を拡充し、当協会として日常的業務として取組むことから部会を廃止する。

③ 事務局職員の増員

a) CMO (Chief Marketing Officer: データ分析に基づくマーケティング責任者)

- ・ 市の DMO 交付金により採用し、各種データに基づく持続可能な観光地づくりに向けた方針や戦略的マネジメントなど、「マーケティング戦略部会」等と協議しながら活動する。

b) 地域おこし協力隊による体験型観光担当者の配置

- ・ 市と連携して事務局に、“地域おこし協力隊”を体験型観光の担当者として配置し、各関係事業者や団体等を調整し、体験型商品を造成(拡充)し、販売を促進する。

2 主な取組

① 観光地経営戦略の策定等

- ア) KGI・KPI 設定等に向けた各種調査 : 来訪者・住民・観光事業者へのアンケート調査
- イ) 観光地経営戦略 : 令和8~9年度にマーケティング戦略部会で協議しながら策定
- ウ) データ管理プラットフォーム : 市やマーケティング戦略部会委員と共有し、進捗管理

② 情報公開・地域住民の理解促進等

- ア) 意思決定機関の議事録内容の公表 (公式ウェブサイト)
- イ) 各データや観光庁への事業報告等の公表 (公式ウェブサイト)
- ウ) 理解促進に向けた取組 (公式ウェブサイトや紙媒体、ワークショップやセミナー等の検討)

③ 戦略的なプロモーション・魅力づくりに対する事業拡充 : “観光事業推進”項目に記載

④ 多様な関係者との体制(合意形成)構築に向けた組織統合

- ・ 現状の DMO 形成連絡会議と理事会の二つの合議体での運営から、今後の迅速な協議や意思決定が図るため、令和9年度の理事改選時において統合する方針とし、当協会理事会を DMO 基準とするために地域住民や一次産業等の団体など、関係機関と合意形成を図る。なお、統合後の組織体制案を次ページに示す。

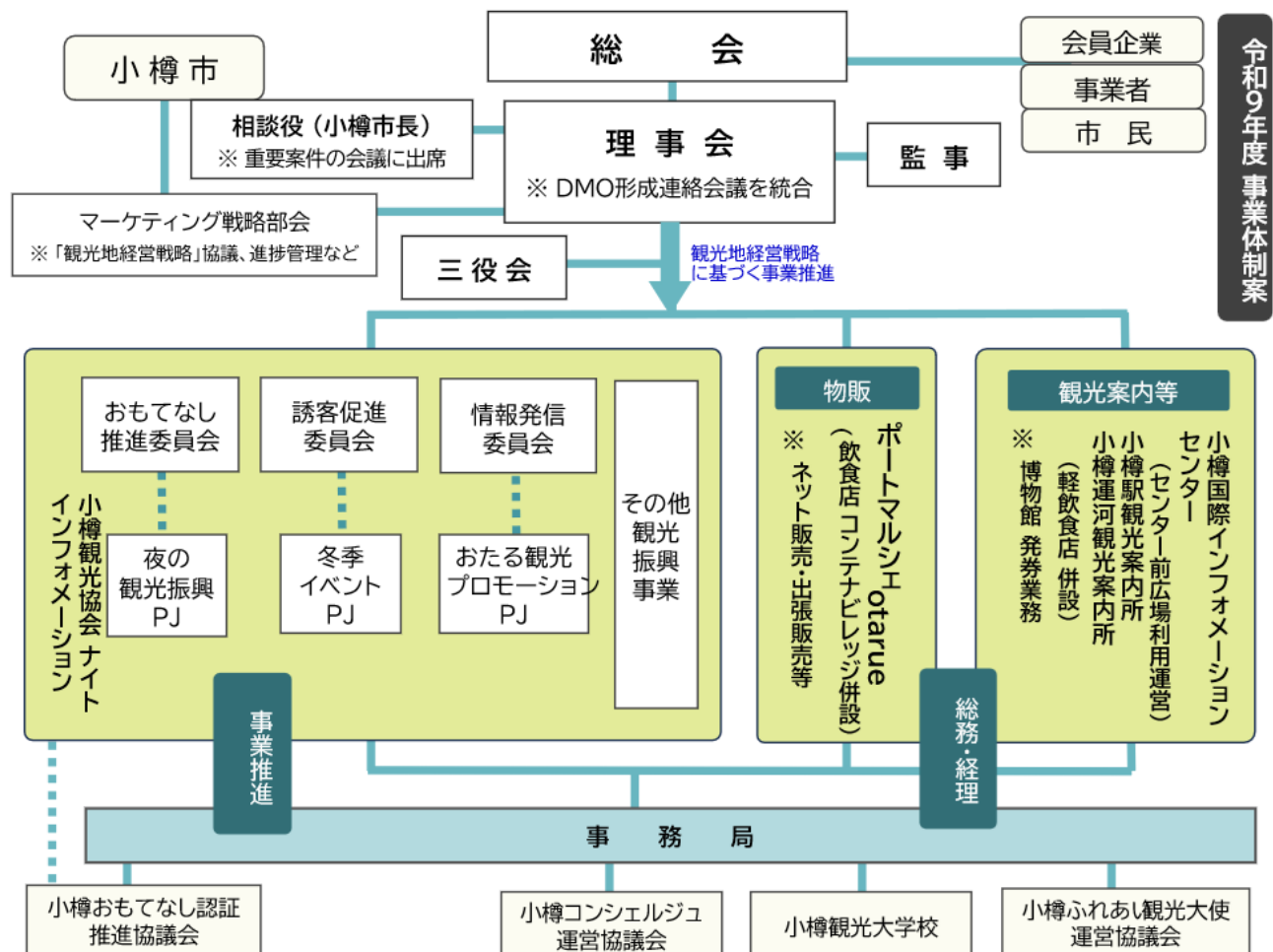
⑤ 定期的な総会・理事会の開催

- ・ 各年度の総会のほか、毎月、理事会を開催し、各事業の進捗管理や方向性、重要事項を協議

⑥ 人材育成

- ・ DMO 更新登録要件として、観光庁が指定する研修受講を3名以上とするため、今年度は、新たに採用予定の CMO も含めて複数名の研修修了を目指して取り組む。

《 統合後の組織体制案（令和9年度の案） 》



令和9年度事業体制案

観光事業推進

1 観光誘致促進事業

国内外マーケットにおける目的とターゲットを整理し、宿泊喚起・連泊やリピーターの誘客促進につなげるプロモーションを展開することで、観光消費の拡大を目指す。

(1) メディアタイアップ事業【事務局対応】 【2,000 千円】

素材やテーマに応じて、ターゲットやエリアを設定し、メディア媒体を活用したプロモーションを展開する。(雑誌、新聞、ウェブメディア、テレビ・ラジオ等)

(2) 国内外誘客事業【誘客促進委員会】 【3,100 千円】

① 消費者向けプロモーション (toC)

- ・ 物産展における小樽 PR (仙台藤崎百貨店「小樽の物産と観光展」、高崎高島屋「小樽・しりべしの物産と観光展(仮称)」、北海道の物産と観光展など)
- ・ 旅行博、展覧会イベント等への出展
- ・ 道内客向け観光PR事業

② 旅行博・情報交換会等への出展 (toB)

- ・「VISIT JAPANトラベル & MICE マート 2026」「ツーリズム EXPO ジャパン 2026」等、各種商談会や招聘事業への参加
- ・地方都市相互送客連携事業(北海道観光機構 主催)への参画

③ フェリー航路活用事業

北海道への海の玄関口となるフェリー航路を活用したプロモーションを実施

- ・小樽を起点とした後志周遊に向けた PR
- ・舞鶴航路における船内 PR およびアンケート調査

④ スキープロモーション事業

雑誌やウェブ媒体、ウェブ広告を活用し、小樽を拠点としたスキー・スケートボード客の長期滞在の促進を訴求する。

⑤ クルーズ客船プロモーション事業

- ・小樽港クルーズ・プロモーションにおける観光 PR やクルーズ船社招聘対応
- ・クルーズ客船向け旅行商品造成

(3) 教育旅行誘致促進事業【事務局対応】 【5,980 千円】

① セールスコールを旅行会社や学校関係者向けに実施 (平成 29 年の実施以来 9 年ぶり)

- ・訪問先 : 東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州 (6 エリア)
- ・教育旅行コンテンツの紹介、および教育旅行実施の現況や今後についての意見交換を行う

② 教育旅行コンテンツの造成 (現地学習用テキスト素材の作成)

③ キャリア教育、地域交流学習等の受入れ対応およびコーディネート

(4) 外国人観光客誘致広域連携事業【事務局対応】 【7,363 千円】

「小樽国際観光客誘致実行委員会」事業を継承し、外国人観光客誘致に取り組む。

- ・AT コンテンツ造成事業
- ・海外 OTA 活用事業(小樽特集ページの作成)
- ・TikTok を活用した宿泊促進事業 など

2 情報発信事業

多彩な観光資源を活用した滞在型コンテンツや小樽宿泊の情報発信をターゲット層別に展開し、小樽への訪問意欲の向上や滞在時間の延長を働きかけ、観光による消費額の向上を目指す。

(1) PR ツール作成事業 【34,998 千円】

① 公式小樽観光ガイドマップ 2027 の製作 [おたる観光プロモーション PJ]

3 年ぶりの大幅リニューアルとなる観光ガイド(パンフレット・マップ)の製作業務(紙面編集・広告募集等)

② 公式ブランドブックの製作 [おたる観光プロモーション PJ]

観光の質的向上、小樽ブランドの再定義およびシビックプライドの醸成を目的に、「小樽という都市の価値を編集し、所有される本」として、ブランドブックを新たに製作する。

- ・販売 : 令和 9 年度販売予定

③ 公式小樽観光ガイドマップ 2026「つむぐおたる」配布事業【事務局】

小樽への旅行を検討や実行予定の観光客層や小樽を観光中の旅行者に対する情報発信ツールとして、「小樽観光ガイドマップ 2026」の配布や活用を推進する。

(2) 公式ウェブサイト「おたるぽーたる」リニューアル【事務局】 【10,000 千円】

前年度に実施したウェブサイト分析をもとに、9年ぶりとなるリニューアルを実施し、ユーザーにとってより使いやすく、小樽の情報が伝わりやすいサイトを構築する。

(3) デジタルプロモーション事業

① Web マガジン配信【情報発信委員会】 【1,000 千円】

地元発の特性を活かした情報発信として、Web マガジン「小樽通」を毎週配信する。

- ・ 小樽の食、歴史文化、イベント、自然景観、旬のトピック等の紹介
- ・ 後志の魅力発信
- ・ HBC(北海道放送)メディア「ウェブマガジン Sitakke」とのタイアップ

② SNS 配信 【500 千円】

Web マガジン「小樽通」のコンテンツや旬の小樽の観光情報を、各種 SNS を活用したプッシュ配信を展開する。

- ・ 利用 SNS : Instagram、X、Facebook、TikTok

③ 各種サイト管理【事務局】 【500 千円】

- ・ 公式ホームページ「おたるぽーたる」「キタル、オタル。」等を活用した情報発信
- ・ 小樽観光協会 公式 SNS「小樽よいところ」を活用したプッシュ型情報発信
- ・ 「おたるぽーたる」トップページでのウェブバナー広告運営
- ・ 各種アクセス数値の改善とファン／フォロワー数の増強

(4) 広報パブリシティ対応【事務局】

各種メディアや旅行会社、観光関連団体等への情報提供・情報発信を展開する。

3 受入推進事業

観光客の利便性を高め、観光に携わる事業者や市民によるおもてなしの向上を目指し、小樽が選ばれる観光地となっていくための取組みを展開する。

(1) 「小樽観光協会ナイトインフォメーション」事業【おもてなし推進委員会】 【4,638 千円】

夜の観光を楽しむための情報提供を通じた観光客の市内回遊と消費の増強に向けて、さらなるナイトインフォメーションの利用促進に取り組む。

(2) 研修事業【おもてなし推進委員会・事務局】 【1,750 千円】

市内事業者や市民等を対象とした各種勉強会を開催し、観光知識や受入マインドの向上を目指し、年度内に 5 種の事業を実施予定。

(3) 受入整備・おもてなし啓発事業【おもてなし推進委員会】

- ① 北運河美化活動
- ② おもてなしエピソード募集
- ③ おもてなしツール作成、観光客対応に向けた事業者支援事業

(4) ユニバーサルツーリズム推進事業【事務局】

- ① 観光介助士(初級)講座の開催
- ② ハラル・ヴィーガン等受入勉強会
- ③ バリアフリーサイトのコンテンツ拡充

4 観光課題対策事業

小樽観光の課題である宿泊者数の増・宿泊施設の稼働向上と閑散期周遊の改善に向け、各種事業を展開する。

(1) 宿泊需要喚起対策事業 【3,000 千円】

① 夜の魅力発信事業 [夜の観光振興 PJ]

ナイトタイムエコノミーの推進を目指した取組みのほか、ナイトマップ製作、ウェブサイト「ON-Otaru Night-」・小樽観光ガイドウェブアプリ「おたるあそび」（運営：小樽商工会議所青年部）を通じた情報発信を展開する。

② 朝活コンテンツ造成事業 [事務局]

- ・ 小樽の朝体験(日の出、朝さんぼ、食)のコンテンツを造成し、販売する(実証事業)
- ・ 「朝活マップ」の配布、ウェブ媒体 2 次活用を通じた PR を実施する。

(2) 閑散期周遊促進事業 【2,690 千円】

① YOI-TARU プロジェクト [YOI-TARU プロジェクト]

余市観光協会と連携し、閑散期に向け、地域の食を活かしたイベントや周遊企画の実施による誘客促進と域内消費の喚起に向けた取組みを展開する。

- ・ YOI-TARU 味覚祭：令和 8 年 10 月 10 日(土)～12 日(月祝)

② イルミネーション「青の運河」、「ワイングラスタワー」展示 [役員、事務局対応]

③ クリスマスプロモーション

5 その他観光振興事業

(1) 小樽潮風高校Project [事務局]

TOKYO6ENTERTAINMENT と小樽商科大学との連携を継続し、音声合成キャラクターを活用したイベント企画などにより、観光 PR 等で市内周遊を促進。

① 「第七回 小樽まちめぐりスタンプラリー・飲食店コラボ

- ・ 実施期間：令和 8 年 5 月 30 日(土)～8 月 3 日(月)、飲食店コラボ企画も展開
- ・ 参加店：29 店舗（新規参加店 6 店舗）、飲食店参加は 10 店舗
- ・ スタンプ数：35 個（新スタンプ 10 店舗）
- ・ 周知：ノースウェーブ KAT'S IN THE MORNING」の小樽市情報発信コーナー「OTARU FULL OF DREAMS」、街頭放送での案内（5/17～8/3）

② 小樽市×春日部市都市間協定のコラボ企画

- ・ 2 都市によるスタンプラリー・等身大パネルの設置
- ・ 両市で活動している音声合成キャラクターのコラボ

③ その他、市内イベントとの連携 など

(2) 高崎高島屋「物産と観光展」への協力 [事務局]

高崎高島屋開店 50 周年を記念した「小樽・後志の単独物産・観光展」を小樽市・小樽物産協会・小樽堺町通り商店街振興組合と当協会により実行委員会を組織し、小樽観光の PR イベントや物産販売を実施

- (3) 小樽築港エリア・新しいナイトタイムコンテンツ造成事業 PhaseⅢ[事務局][12,000 千円]
 (公益社団法人北海道観光機構 伴走支援型観光地域力強化推進事業[DMO 梓部門] 採択)
 潜在的な魅力が大きい築港ベイエリアに着目したナイトタイムコンテンツ造成事業を展開、エリアの更なる認知度向上に取り組む。BBQ ガーデンの新設や巡回バスの運、自走化に向けたプロモーション強化等を実施（一般社団法人赤井川村国際リゾート推進協会との連携事業）

物販事業等

1 物販事業

収益事業の柱である物販事業は、初年度は新規オープンにかかる経費の多さ、2年目の前年度は、施設前面の第3号ふ頭基部緑地の工事が長期間実施されていた影響など、来場者数の増加数が予想を下回ったことから、2か年連続で赤字決算となってしまった。これまで来客数の動向や売上額、運営経費などの経営環境も十分把握した3年目を迎えた今年度は、黒字転換が必須の使命である。

本年 2 月以降は、好調な来場数(前年度比で増加)が継続しており、当施設の認知度の高まりとともに売上の底上げを実感しているが、さらなる増加を図るため、これまで効果があった企画等の周辺ホテルへの周知や SNS 投稿などの取組みを継続するほか、新たな賑わいづくりを目指す第3号ふ頭の再開発事業が前年度の工事を終え、今春から基部緑地の名称を「おたるポートスクエア」としオープンしたことに加え、クルーズターミナル駐車場が一般開放(団体バス)したことや、当施設前をバス乗降場所とし道内バス事業者に周知したことで、その効果が明らかに見えている。さらに、今夏にはポートスクエア内に“小樽港みなと緑地 PPP”による複数の飲食店の開業も予定されており、ポートスクエアでのイベントとともに、このエリアの集客効果が図られることを予想している。センター前広場のさらなる利用促進やイベント展開などを加え、来場者数に比例した売上額の増加を見込んでいる。

商品や店内については、小樽・後志地域を中心とした魅力ある商品の開拓や、季節の変化・観光客の動向に応じた品揃えの充実を引き続いて取り組むほか、新たに旅行会社のツアー商品への組み込みや、当店限定の小樽潮風高校 Project のオリジナルグッズの企画販売、小樽・後志産の日本酒やワインの試飲(有料)コーナーの設置など、売上向上に向けた展開を図りながら、上述した第3ふ頭再開発エリア全体としての魅力向上を図り、お客様に喜ばれるエリア・店づくりを展開する。

経費については、この2年間で現状の運営に応じた人員数になったことや減価償却費等の削減見込があるほか、さらなる経費抑制に努め利益率の向上を図りたい。

- (1) ポートマルシェ otarue における物販
- (2) コンテナ店舗・焼立てパン店「Port bakery nomnom」、「コンテナバーガー ーSUNー」
- (3) ネット活用事業：オンラインショップ、ふるさと納税への出品
- (4) 小樽国際インフォメーションセンター前広場活用事業
- (5) 販売促進事業・出張販売

観光案内所運営・独自サービス事業・受託業務

1 観光案内所運営事業(小樽国際インフォメーションセンター、小樽駅、小樽運河の3か所)

昨年度に隣接する小樽芸術村「浮世絵美術館」内に移転した小樽運河観光案内所は、利用が伸び悩んでいる要因となっている、浅草橋街園と当施設へと誘導する階段やスロープの通行止め解除を期待して止まないが、現状における利用増に向け、さらなる多言語によるタイムリーな話題提供や、観光客へサービスとしてコインロッカー・自動販売機の設置や飲食店などの PR など、SNS等の活用を一層促進したい。

- ① 外貨両替機の設置：小樽国際インフォメーションセンター、クルーズ船ターミナル
- ② 車椅子の貸出(無料)、ペビカルによるベビーカー貸出(有料)：同上センター
- ③ スマホ充電器の設置：同上センター、小樽運河観光案内所
- ④ コインロッカー：同上センター、同上案内所

2 小樽市総合博物館本館・運河館窓口発券業務、入館料及び有償書籍売払代金に係る徴収事務業務

3 新たなサービスや受託事業等の検討

小樽にお越しいただく観光客の受入向上と当協会の収益向上を目指し、これまでも新たなサービスや小樽市から業務受託を目指し取り組んできたが、これまでの課題の克服を図りながら、次年度以降の実施や受託を目指して検討を進める。

会員増加の取組【令和7年度から継続】

令和7年度から新たに取り組んだ会員増加の取組は、約20事業者の会員増の成果があったが、取組は緒に就いたところであり、当協会の目的や事業に賛同する会員の増加が協会事業の理解者を増やし、組織としての力を高めることに繋がることや、観光は、すそ野が広く関連する事業者も多い産業であることから、500事業所を目標に継続する。合わせて取り組んでいる口数変更(増)についても継続する。

また、会員増加の取組の中から新たに展開した「サポーター」募集(従来の個人会員)についても、DMOとして多くの市民からの理解や協力が一層重要になっていることから継続する。

その他事務局対応事業

1 事務局を担っている事業等

- (1) 小樽観光大学校：継続した取組みを基本とする。
- (2) 小樽ふれあい観光大使運営協議会：同上

- (3) 小樽コンシェルジュ運営協議会：同上
- ・ 2026 小樽コンシェルジュ選定について
～ 前年度(令和 8 年 3 月 2 日)に実施した
審査会において、2名を決定した。

【写真を参照(向かって)】

- 右側：笠井 真実 (かさい まみ)さん
左側：平山 あずさ (ひらやま あずさ)さん



(4) 「小樽おもてなし認証」制度の推進【小樽おもてなし認証推進協議会】

小樽らしさを強みにして、顧客体験価値を高められる事業者を対象とする「小樽おもてなし認証」の取組を通じ、小樽ファンを増やしリピーター獲得・増加を目指すとともに、事業者にとっては、現状のサービスレベルをお客様目線で確認し業務改善に繋げて売上向上に結び付けることを目的としており、認証事業所の増加が重要なことから次の取組を強化する。

- ① 小樽おもてなし認証 事業運営（エントリー募集、審査、認証）
- ② 勉強会・セミナー開催、高校生向け出前授業（講話・ワークショップ）
- ③ 認証取得事業者の取組み紹介
- ④ ウェブサイト、SNSを通じた認証制度の周知活動

2 その他の事業

- (1) 会員への情報共有等
 - ・ 毎月のメールマガジンの発行のほか、各機関からの公募事業や周知事業などのメール連絡
- (2) 行政視察等の受入対応：資料の有料化は実施済だが、受入対応についても有料化を検討

3 関係団体との連携事業

- ・ 小樽市オーバーツーリズム対策協議会（構成団体）・部会（構成員）
- ・ その他、多数の小樽市の事業への参画や協力
- ・ 潮まつり実行委員会、雪あかりの路実行委員会等への参画
- ・ 市内関係団体と連携した取組み
- ・ 小樽商科大学との連携（地域連携プロジェクト）
- ・ 道内関係団体と連携した取り組み（北海道観光振興機構主催事業等への参画）
- ・ 後志地域での広域連携事業への参画
- ・ 札幌小樽 芸術文化・観光に関する連携協定に基づく事業 など

令和8年度 収支予算(案)【総括表】

【総括表】

令和8年4月1日～令和9年3月31日

科目	一般会計	事業会計	物販会計	合計
1 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	11,565,000			11,565,000
補助金・交付金等	75,510,000	78,200,000		153,710,000
地域DMO交付金	75,510,000	68,200,000		143,710,000
観光協会運営費補助金	39,957,000			
観光案内所運営費交付金	35,553,000			
戦略的なプロモーション・魅力づくり事業		53,200,000		
観光誘致促進事業		17,843,000		
観光プロモーション事業		24,298,000		
観光客受入整備事業		5,869,000		
観光課題対策事業		5,190,000		
経営戦略・データ・マーケティング等事業		15,000,000		
北海道観光機構 補助金(伴走支援型)		10,000,000		10,000,000
受託金	15,169,000			15,169,000
総合博物館発券業務受託金	11,502,000			
体験型観光推進事業受託金(地域おこし協力隊)	3,667,000			
事業推進負担金等		18,575,000		18,575,000
観光マップ作成負担金		12,400,000		
その他観光振興事業負担金		6,175,000		
物販事業売上等			407,210,000	407,210,000
マルシェ商品売上			379,700,000	
コンテナ商品売上			15,300,000	
その他売上			11,000,000	
その他収入			1,210,000	
雑収入	4,788,000	3,800,000		8,588,000
事業活動収入 計	107,032,000	100,575,000	407,210,000	614,817,000
事業活動支出				
事業費支出	89,259,000	102,709,620		191,968,620
地域DMO交付金対応事業	75,510,000	87,191,000		162,701,000
観光協会運営費補助金	39,957,000			
観光案内所運営費交付金	35,553,000			
戦略的なプロモーション・魅力づくり事業		72,091,000		
観光誘致促進事業		18,443,000		
観光プロモーション事業		37,270,000		
観光客受入整備事業		8,188,000		
観光課題対策事業		8,190,000		
経営戦略・データ・マーケティング等事業		15,100,000		
北海道観光機構ナイトタイムコンテンツ造成事業		12,000,000		
その他観光振興事業費		3,518,620		
総合博物館発券業務費	10,082,000			
体験型観光推進事業(地域おこし協力隊)	3,667,000			
物販事業費			404,988,000	404,988,000
マルシェ売上原価			272,120,000	
コンテナ売上原価			7,650,000	
事務局人件費			18,660,000	
物販人件費			38,670,000	
一般経費			67,888,000	
一般管理費	18,775,341			18,775,341
事務局人件費	11,198,600			
管理経費	7,576,741			
事業活動支出 計	108,034,341	102,709,620	404,988,000	615,731,961
事業活動収支差額	▲ 1,002,341	▲ 2,134,620	2,222,000	▲ 914,961
2 財務活動収支の部				
財務活動収入計			35,000	35,000
法人税、法人住民税及び法人事業税			80,000	80,000
当期収支差額	▲ 1,002,341	▲ 2,134,620	2,177,000	▲ 959,961
前期繰越収支差額	22,776,683	9,075,493	▲ 38,041,271	▲ 6,189,095
次期繰越収支差額	21,774,342	6,940,873	▲ 35,864,271	▲ 7,149,056

令和8年度予算 正味財産増減計算書(物販会計)案

令和8年4月1日～令和9年3月31日

物販会計

(単位:円)

科 目	R7年度決算額	R8年度予算額	前年度増減額
1 事業活動収支の部			
事業活動収入			
物販事業売上等	330,655,195	407,210,000	76,554,805
マルシェ商品売上	303,698,690	379,700,000	76,001,310
コンテナ商品売上	14,819,647	15,300,000	480,353
その他売上(発送料、出張販売等)	10,933,227	11,000,000	66,773
その他収入	1,203,631	1,210,000	6,369
雑収入	31,762	0	▲ 31,762
事業活動収入 計	330,686,957	407,210,000	76,523,043
事業活動支出			
物販事業費原価等	348,143,348	404,988,000	56,844,652
マルシェ売上原価	219,143,778	272,120,000	52,976,222
コンテナ売上原価	7,305,985	7,650,000	344,015
事務局人件費	18,272,653	18,660,000	387,347
物販人件費	38,168,072	38,670,000	501,928
一般経費	65,252,860	67,888,000	2,635,140
減価償却費	10,819,691	7,834,000	▲ 2,985,691
賃借料	29,273,576	32,890,000	3,616,424
租税公課	4,753,420	5,850,000	1,096,580
支払利息	5,974,820	6,990,000	1,015,180
その他一般経費	14,431,353	14,324,000	▲ 107,353
事業活動支出 計	348,143,348	404,988,000	56,844,652
事業活動収支差額	▲ 17,456,391	2,222,000	19,678,391
2 財務活動収支の部			
財務活動収入計	37,852	35,000	▲ 2,852
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	37,852	35,000	▲ 2,852
法人税、法人住民税及び法人事業税	80,000	80,000	0
他会計振替額			0
当期収支差額	▲ 17,498,539	2,177,000	19,675,539
前期繰越収支差額	▲ 20,542,732	▲ 38,041,271	▲ 17,498,539
次期繰越収支差額	▲ 38,041,271	▲ 35,864,271	2,177,000